

令和5年度

事業報告書及び付属明細書

社会福祉法人 秀生会



目 次

I	社会福祉法人 秀生会	1
1	事業概況	1
2	評議員会開催状況	1
3	理事会開催状況	1
4	法人監事監査	2
5	経営会議開催状況	2
6	部門別会議開催状況	3
7	指導監査状況	3
II	ヴィラージュ富士事業報告	4
1	事業概況	4
2	各サービスの事業概要	4
3	特別養護老人ホームヴィラージュ富士の活動実績	7
	(1) 施設利用者の状況	
	(2) 要介護度分布	
	(3) 入院・外泊状況	
	(4) 費用負担の状況	
	(5) 段階別利用者数	
	(6) 施設行事	
	(7) 実習生の受け入れとボランティアの支援	
	(8) 事業報告	
4	ヴィラージュ富士ショートステイの活動実績	12
	(1) 施設利用者の状況	
	(2) 活動内容	
	(3) 事業報告	
5	ヴィラージュ富士デイサービスセンターの活動実績	17
	(1) 利用者の状況	
	(2) 活動内容	
	(3) 事業報告	
6	ヴィラージュ富士デイサービスセンター認知症対応型の活動実績	22
	(1) 利用者の状況	
	(2) 活動内容	
7	ヴィラージュ富士居宅介護支援事業所の活動実績	24
	(1) 介護度別介護計画作成状況	
	(2) 活動内容	
8	ヴィラージュ富士高齢者支援窓口の活動実績	26
	(1) 高齢者支援窓口の相談状況	

Ⅲ	ヒューマンヴィラ伊豆事業報告	28
1	事業概況	28
2	各サービスの概要	28
3	特別養護老人ホームヒューマンヴィラ伊豆の活動実績	30
	(1) 施設入居者の状況	
	(2) 要介護度分布	
	(3) 入院・外泊状況	
	(4) 費用〈介護サービス料〉負担の状況	
	(5) 利用者負担段階の状況	
	(6) 実施行事食	
	(7) ボランティア	
	(8) 研修の実施状況	
4	ヒューマンヴィラ伊豆ショートステイの活動実績	35
	(1) 利用者の状況	
	(2) 要介護度別月延べ人数	
5	ヒューマンヴィラ伊豆デイサービスの活動実績	35
	(1) 利用者の状況	
	(2) 年間行事・活動報告	
6	かも居宅介護支援事業所の活動実績	39
	(1) 介護度別介護計画作成状況	
	(2) 活動内容	
Ⅳ	デイサービスセンター美原事業報告	41
1	事業概況	41
2	各サービスの事業概要	41
3	デイサービスセンター美原の活動実績	43
4	美原居宅介護支援事業所の活動実績	46
Ⅴ	デイサービスセンター松崎事業報告	50
1	事業概況	50
2	各サービスの事業概要	50
3	デイサービスセンター松崎の活動実績	51
4	まつざき居宅介護支援事業所の活動実績	57
Ⅵ	富士中央ケアセンター事業報告	59
1	事業概況	59
2	各サービスの事業概要	59
3	介護老人保健施設富士中央ケアセンターの活動実績	61
	(1) 施設利用者の状況	
	(2) 要介護度分布	

(3) 加算別算定実績	
(4) 実習・ボランティア	
(5) 研究発表	
4 デイケアリベルタの活動実績	64
(1) 利用者の状況	
5 訪問リハビリテーションの活動実績	64
(1) 利用者の状況	
VII 富士市北部地域包括支援センター事業報告	65
1 事業概況	65
2 包括的支援事業	65
(1) 総合相談・支援事業について	
(2) 権利擁護業務	
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
(4) 介護予防ケアマネジメント事業について	
3 その他業務	66
(1) 認知症施策推進事業について	
(2) 生活支援体制整備事業について	
4 包括的支援業務の実績	67
(1) 総合相談	
(2) 権利擁護	
(3) 包括的継続的ケアマネジメント	
(4) 介護予防ケアマネジメント	
(5) 認知症施策推進事業	
(6) 生活支援体制整備事業	
(7) 各種団体委員など	
VIII ヴィラージュ保育園事業報告	73
1 事業概況	73
2 施設概要	73
3 事業所の活動実績	73
(1) 利用状況	
(2) 年間実施行事等	
(3) 内部研修実施状況	
(4) 外部研修への参加	
(5) 職員会議実施状況	

I 社会福祉法人 秀生会

1 事業概況

令和5年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス発生に伴い、各施設少なからず影響は受けましたが、5類へ移行されたことやこれまでの経験を活かした感染対策によりサービスを止めることなく施設運営を継続したことにより、昨年度よりも増収となりました。

しかしながら、ヒューマンヴィラ伊豆において予期せぬ食中毒事故が発生し、ご利用者、ご家族へ多大なるご迷惑をお掛けしました。改めて感染症の恐ろしさを身に染みて感じ、各施設においても、日頃の感染対策を再度徹底致しました。

法人としては在宅部門の運営強化、法令遵守について取り組みました。ヴィラージュ富士では、休止していた認知症対応型通所介護を再開したことや、営業活動を強化したことでデイサービス全体の利用者数が増加し、目標を達成することができました。デイサービスセンター松崎ではサービス提供時間の延長等対策を講じましたが、利用者の減少もあり目標達成には至りませんでした。法令遵守については、各規程の見直しを行ったことや各施設を巡回したことで事務職員からの相談や課題の確認へと繋げることができましたので、適性に事務手続きが行われるよう継続してまいります。また、今年度は静岡県福祉指導課による運営指導が富士中央ケアセンター、ヒューマンヴィラ伊豆にて実施された結果、指摘事項はありませんでした。助言事項については、適切に対応してまいります。

人材確保については、多くの新規採用をすることが出来た一方、退職者も多く職員定着の面では課題が残る一年となりました。中長期的な課題解決の取り組みを実施してまいりました。来年度も、ご利用者が安心して過ごすことができ職員が働きやすい職場環境に向け取り組んでまいります。

2 評議員会開催状況

日時 令和5年6月23日(金)

- 議題
- (1) 新役員選任の件
 - (2) 令和4年度 決算報告の件
 - (3) 役員・評議員等の報酬等及び費用弁償規程変更の件
 - (4) 定款変更の件
 - (5) 社会福祉充実計画の件

3 理事会開催状況

日時 令和5年6月8日(木)

- 議題
- (1) 任期満了に伴う、理事・監事候補者選定の件
 - (2) 令和4年度 事業報告の件
 - (3) 令和4年度 決算報告の件
 - (4) 公印管理規程変更の件
 - (5) 経理規程変更の件
 - (6) 入居者預り金等保管・管理規程変更の件
 - (7) 役員・評議員の報酬等及び費用弁償に関する規程変更の件

- (8) 定款変更の件
- (9) 定款細則変更の件
- (10) 紙おむつに係る物品売買契約更新の件
- (11) 定時評議員会の日時、場所、議案の件

日 時 令和5年6月23日(金)

議 題 (1) 理事長選定の件

日 時 令和5年11月29日(水)

- 議 題 (1) 令和5年度 資金収支第一次補正予算の件
(2) 紙オムツ物品売買契約、清掃業務委託契約更新の件
(3) ヒューマンヴィラ伊豆食中毒事故発生の件

日 時 令和6年3月26日(火)

- 議 題 (1) 令和5年度 資金収支最終補正予算書の件
(2) 令和6年度 資金収支当初予算書の件
(3) 令和6年度 事業計画書の件
(4) 寮管理規程の制定の件
(5) 文書保存規程の制定の件
(6) 監事監査実施規程の制定の件
(7) 事務決裁規程廃止の件
(8) 定款細則の一部改正の件
(9) 給与規程の一部改正の件
(10) 個人情報保護規程の一部改正の件
(11) 出張旅費規程の一部改正の件
(12) ストレスチェック制度実施規程の一部改正の件
(13) 給食業務委託契約の件

4 法人監事監査

日 時 令和5年5月23日(火)

令和5年11月20日(月)

5 経営会議 開催状況

- 第1回 日時 令和5年4月20日(木)
第2回 日時 令和5年4月18日(木)
第3回 日時 令和5年6月22日(木)
第4回 日時 令和5年7月20日(水)
第5回 日時 令和5年8月24日(木)
第6回 日時 令和5年9月26日(火)
第7回 日時 令和5年10月19日(木)

- 第8回 日時 令和5年11月24日(金)
- 第9回 日時 令和5年12月28日(木)
- 第10回 日時 令和6年1月25日(木)
- 第11回 日時 令和6年2月22日(木)
- 第12回 日時 令和6年3月14日(木)

6 部門別会議 開催状況

(1) 特養部門会議

- 第1回 日時 令和5年10月5日(木)

(2) デイサービス部門会議

- 第1回 日時 令和5年5月19日(金)
- 第2回 日時 令和5年7月21日(金)
- 第3回 日時 令和5年9月15日(金)
- 第4回 日時 令和6年1月19日(木)
- 第5回 日時 令和6年3月15日(金)

(3) 居宅部門会議

- 第1回 日時 令和5年7月5日(水)
- 第2回 日時 令和5年9月19日(火)
- 第3回 日時 令和5年12月19日(火)
- 第4回 日時 令和6年3月19日(火)

(4) 事務部門会議

- 第1回 日時 令和5年7月27日(木)
- 第2回 日時 令和5年10月31日(火)
- 第3回 日時 令和6年2月28日(水)

7 指導監査状況

(1) 介護保険法による運営指導

- | | |
|---------------------|---------------|
| 富士中央ケアセンター(訪問リハビリ) | 令和5年10月11日(水) |
| 富士中央ケアセンター(入所・デイケア) | 令和6年2月21日(水) |
| ヒューマンヴィラ伊豆(特養・ショート) | 令和6年3月5日(火) |

Ⅱ ヴィラージュ富士事業報告

1 事業概況

令和5年度は、施設全体で『社会の「変化とニーズ」に対応できる施設づくり』『働きやすい職場・過ごしやすい施設づくり』『感染症対策・災害対策の強化をし、事業継続ができる施設づくり』『法令遵守を徹底した施設づくり』『施設と職員のスキルアップを図る』を目標にかかげました。そして、ご利用者や地域の方々に安心して活用・選択してもらえるように、感染症の対応ができて事業を継続していくことが可能な施設を目指してまいりました。

特養部門においては、昨年度の課題となっていた退居から入居までの空床期間の短縮を目指し地域からの相談受付の増と待機期間中の入居までの仕組みを再度見直し、昨年度より空床の期間を短くご利用いただけるようになりました。看取り介護については、昨年度とほぼ同様の実績を残すことができ、令和4年度退去件数の85%から令和5年度は94%の方が看取り介護での退去となりました。ただ、職員の入退職もおおく、サービス提供の質が低下しないように苦慮した年にもなりました。働きやすさとは何かを再度考え直し現状を見直したうえで、改革をしていかなければならない課題も浮き彫りになりました。

在宅部門においては、今年度もコロナ対策対応で厳しい一年となりました。

デイサービス部門では、今年の大きな目標だった認知症対応型通所介護を再開し、スタートこそ少し遅れたものの順調な滑り出しとなり、一般型通所介護も令和6年度から通常規模から大規模へ移行するほどご利用が多い年になりました。

ショートステイ部門においては、令和4年度の集客をさらに上回る結果となり、常にご利用者のご希望に沿うことを目標に調整に力を入れた結果、お問い合わせを多くいただきました。

居宅介護支援事業所は、職員退職などを経て、地域の困難な事案などにも対応し、窓口事業は個別でのケース訪問を中心とした活動となりました。今後、さらに技術を向上させ地域の方に安心してご利用いただける事業所を目指します。

施設全体で、働き手不足などもありましたが今後さらに働き方や、業務の工夫をして、利用者も職員も満足できる施設を目指してまいりたいと思います。

2 各サービスの事業概要

(1) 特別養護老人ホームヴィラージュ富士

年間で稼働率98.4%と目標数値(+0.5)、平均介護度3.9(-0.1)の実績となりました。

コロナ対策が5類になったとはいえ、施設内で感染が広がるケースがあり、ゾーニングを要する事態に至るなど、入居者や職員の生活にまだまだ制限がかかる年度となりましたが、対面での面会を再開し、例年に近い行事を実施するなど徐々に日常を取り戻りつつあります。

稼働面では、看取り介護を希望される方が多かったことで入院が少なかったことや、事前に入居待機者の準備を進めることで空床をつくることなく前年度を上回ることができました。申し込み件数は例年と大きな差はありませんが、老健で入居待機をする方が多く、緊急性を判断することが難しいケースが多かったです。

介護職員の定着に課題があり、数か月で退職する事もあり、継続を妨げる理由を検討し、定着率を上げることが次年度に残す課題となりました。勤続年数が長い職員に負担がかかる

状況にはなりましたが、入居者へのサービスの質が下がることがないように不適切ケアを意識しながら業務に取り組みました。また、身体拘束廃止や高齢者虐待防止、コンプライアンスに対しても、オンライン研修などで周知するよう努めました。

(2) ヴィラージュ富士ショートステイ

ショートステイ部門方針を「利用者様が楽しいと感じるショートステイをつくります」と掲げ、4つの大きな柱をたて、それに向けて個々の目標を掲げ達成に向けて取り組んできました。

【1】施設内外で活気あるイベントや企画、趣味活動に力を入れていきます。

【2】利用者を知り、自立に向けた支援を心掛けます。

【3】虐待・身体拘束のない職場にします。

【4】常に数か月後を見越した受け入れを行なっています。

今年度はコロナウイルスが5類となり、令和3・4年度の感染事例を活かしたうえで安全で楽しいイベント作りを考えました。世間の動向に留意しながら9月頃より公園外出を実施しました。また、突発的な外出企画を敢行、年明けには初詣外出も人込みを避け、感染対策をしっかりと行い実施ができました。クリスマス企画ではマクドナルドハンバーガーを提供し、「初めて口にした。美味しかった。」とご利用者からの生の声が聞けました。ご家族からの意向で散歩や歩行訓練などのリハビリの意向が聞かれ、筋力や体力の向上を図るとともに自立に向けた支援を行なうことになりました。

月に一度のミーティングでの不適切ケアの振り返りを行ない、業務のストレスや人間関係の悩みなどの早期解決を面談も含め取り組む事ができました。

実績については昨年度も実績は良好でしたが、今年度は毎月5人以上の契約や問い合わせがあり令和5年度を上回る実績に繋がりました。直近3年間で一番良い成績だったといえ、毎月平均10人を達成、また5月と1月は11人を超えた実績を上げる事ができました。

(3) ヴィラージュ富士デイサービスセンター

今年度、人事異動や中途入職者等、人員の入れ替わりもありスタッフの顔ぶれも大きく変更された中、相談員は業務を引き継ぎ、新人への指導はOJTを活用しながらご利用中の利用者へ不備の無い支援が継続できるように努めてきました。相談受付から契約につながるまでの迅速な対応を意識しながら、体験・見学対応を積極的に受け入れ、継続しているコロナ感染対策の中でも工夫した営業活動を継続し、相談員をはじめ全職員が実績を意識するような体制を作り、受け入れを止めることなく体験利用では「ここに通ってみたい」と思っただけのような丁寧なご案内を心掛けました。新規獲得に全力で取り組み、年間を通して延べ人数が毎月750人を上回る実績を達成することができました。10月には認知デイの受け入れを再開した為、人員配置の見直しを行い「中重度ケア体制加算」「認知症加算」の取得ができなくなり、「個別機能訓練加算Ⅰ口」もほぼ取得できない為、「Ⅱ」・「Ⅰイ」の取得となりましたが、延べ人数の増加がありカバーができたと思います。未だコロナ感染の影響も聞かれているので、職員の自己管理を徹底し、利用者の異常の早期発見に努め、感染拡大を未然に防げるよう努めます。来年度は「大規模Ⅰ」となります。引き続きペースを落とすことなく選ばれる施設を目指して丁寧で安全な支援に取り組んでいきます。

(4) ヴィラージュ富士デイサービスセンター 認知症対応型通所介護

令和5年10月より受け入れを開始しました。8月・9月頃から取引のある事業所への営業を行い少人数からではありますが、お問い合わせを頂けるようになり再開しました。令和5年12月・令和6年2月には運営推進会議を開催し利用者、家族代表、地域の方や保険者へ活動報告ができました。1月・2月には稼働も上がり順調かと思われましたが、ご逝去や入所、入院等の理由で利用を中止されるご利用者があり稼働が減少しました。ご自宅での介護の継続が難しい方も多く利用されているため、より一層信頼関係を構築し家庭介護が安心して行えるようなお手伝いを担うことができればよいと考えます。来年度安定した営業ができるように「認知デイだから、できる事」を地域に発信し、ご利用中の利用者、家族が安心して利用できる施設を目指していきます。

(5) ヴィラージュ富士居宅介護支援事業所

4月から11月までは常勤換算4.3名、12月～3月までは常勤換算4名体制で運営し、一人当たり39.6件という実績となりました。要支援1.2・事業対象者が33.9%、要介護1.2が43.9%、要介護3.4.5が22.2%となり、軽度者が全体の77.8%を占め多い状況です。昨年と比べて軽度者（要支援1.2・事業対象者、要介護1.2）の割合が増えております。また、例年と比べて令和5年度は中止になる利用者が多い年となりました。要因としては、例年以上にがんの末期のご利用者の対応が多かったことや高齢であり老衰でご逝去される方も多かった事と考えています。

令和5年度はコロナ感染症も5類となり、他事業所や医療機関、行政機関の訪問は少しずつですが増えてきました。今年度については月平均2.3名の新規の受け入れを行いました。新規の相談経路としては、地域包括支援センター、他の居宅介護支援事業所からの引継ぎの依頼が多い状況でしたが、医療機関やご家族からの相談も増えています。毎月の地域包括支援センターへの訪問を通じて、事業所の空き状況を伝える事で新規の相談も多くなりました。

(6) ヴィラージュ富士高齢者支援窓口

感染症流行が落ち着かず定期移動相談の再開を断念し、地域から直接相談を受け付ける機会を作ることができませんでした。民協・窓口交流会や研修、地域ケア会議への参加については計画的に参加することが出来ました。1か月に1回、包括にて定例ミーティング開催、天間地区の窓口職員含め情報共有、地域の課題や見守り支援を行っている対象者に対しての報告・相談が逐一行っていた事で迅速な対応、自分自身の支援に対する不安軽減も図れていました。

令和6年度は移動相談再開、より地域に根差した活動を積極的に行っていこうと考えています。

3 特別養護老人ホームヴィラージュ富士の活動実績

(1) 施設利用者の状況

ア 市町村別利用者数

令和6年3月31日現在

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
富士市	19	50	69	18	50	68	16	52	68
富士宮市	2	8	10	2	9	11	2	9	11
静岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狭山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南部町	0	1	1	0	0	0	0	0	0
身延町	0	0	0	0	1	1	0	0	0
計	21	59	80	20	60	80	18	61	79

イ 入退居の状況

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	2	3	2	2	3	6	5	2	1	2	1	2	31
退居	3	2	3	1	5	7	2	3	0	3	1	2	32
末日在籍	79	80	79	80	78	74	80	79	80	79	80	79	

ウ 入退居の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入居	18	32	31
退居	17	32	32

(2) 要介護度分布

ア 男女別要介護度階級別入居者数

令和6年3月31日現在

区分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
要介護度1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
要介護度2	3	3	6	2	0	2	0	0	0
要介護度3	5	13	18	7	11	18	4	17	21
要介護度4	7	25	32	4	25	29	7	28	35
要介護度5	6	17	23	7	24	31	7	16	23
合計	21	59	80	20	60	80	18	61	79
平均介護度	3.9			4.1			3.9		

イ 年齢別要介護度分布

令和6年3月31日現在

年 齢	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
～64	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1
65～69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
70～74	0	0	0	0	0	2	0	3	0	2	0	7
75～79	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	4	3
80～84	0	0	0	0	1	3	0	4	1	2	2	9
85～89	0	0	0	0	3	6	3	4	1	4	7	14
90～94	0	0	0	0	0	0	1	8	2	5	3	13
95～99	0	0	0	0	0	4	1	6	0	0	1	10
100～	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
合 計	0	0	0	0	4	17	7	28	7	16	18	61

(3) 入院・外泊状況

令和5年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 院	人数	2	2	0	2	2	1	2	1	0	1	1	0	14
	延日数	37	34	0	47	27	14	24	28	0	11	4	0	226
外 泊	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 費用負担の状況

利用者負担金

令和6年3月

月額負担額	人数	月額負担額	人数
0～10,000	-	100,001～110,000	1
10,001～20,000	-	110,001～120,000	15
20,001～30,000	-	120,001～130,000	5
30,001～40,000	-	130,001～140,000	-
40,001～50,000	-	140,001～150,000	-
50,001～60,000	-	150,001～	45
60,001～70,000	1	合計金額 10,965,071円 1人月平均 137,063円	
70,001～80,000	7		
80,001～90,000	1		
90,001～100,000	5		

(5) 段階別利用者数

令和6年3月31日現在

	第2段階			第3①段階			第3②段階			第4段階			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
要介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度3	0	2	2	0	1	1	2	4	6	2	9	11	4	16	20
要介護度4	0	2	2	1	3	4	0	10	10	6	13	19	7	28	35
要介護度5	0	2	2	1	0	1	0	5	5	6	10	16	7	17	24
計	0	6	6	2	4	6	2	19	21	14	32	46	18	60	79

(6) 施設行事

	施設行事	行事食	地域交流	総務・衛生・健康
4月	花見企画 いちごのデザートを食べよう企画 おやつ企画	カレーの日 花まつりメニュー 郷土料理の日	丘地区さくら祭り中止	防災講習 新入職員オリエンテーション
5月	母の日企画 ラーメンを食べよう企画 おやつ企画	カレーの日 八十八夜おやつ 端午の節句メニュー 天ぷら企画 郷土料理の日		健康診断 (入居者・職員) 防災訓練
6月	新茶の会 運動会 父の日企画 お寿司を食べよう企画	カレーの日 入梅メニュー 郷土料理の日	花壇植え替え	防災備品点検
7月	スイカを食べよう企画	カレーの日 土用丑の日 七夕メニュー 郷土料理の日	富士祭り中止 家庭介護者教室中止	防災訓練
8月	納涼祭 スイカ割り企画 うどんとトウモロコシを食べよう企画	カレーの日 郷土料理の日		防災訓練
9月	敬老会 プリンアラモード企画 秋の味覚を楽しもう企画 出前を頼もう企画	カレーの日 敬老会お祝い膳 郷土料理の日		総合防災訓練
10月	ヴィラージュ祭り 秋の味覚を楽しもう企画	カレーの日 郷土料理の日	福祉展出展	防災訓練 実践研究発表会
11月	焼き芋企画 お汁粉で温まろう企画	居酒屋周年祭 郷土料理の日 開設記念メニュー 寿司企画	丘地区文化祭中止 花壇植え替え	防災訓練

12月	クリスマス企画 餅つき企画 ケーキを食べよう企画	冬至メニュー クリスマスメニュー 年越しそば 郷土料理の日	家庭介護者教室中止	防災訓練 健康診断 (夜勤者・入居者)
1月	新年会 和菓子、洋菓子企画	おせち料理(元旦) 七草粥 お汁粉(鏡開き)		
2月	バレンタイン企画 節分企画	恵方巻き 郷土料理の日		防災訓練
3月	和菓子、洋菓子企画	桃の節句メニュー 郷土料理の日		防災訓練

(7) 実習生の受け入れとボランティアの支援

ア 実習生の受け入れ

団 体 名	日 程
富士宮東高校	5月10日～24日(11日間) 3名
	7月6日～19日(9日間) 3名
	9月28日～10月12日(10日間) 3名
富士看護専門学校	7月3日、5日、7日、10日、12日、14日 (6日間) 6名
静岡福祉医療専門学校	6月16日～7月22日(24日間) 1名

イ ボランティアと活動内容

前年度同様、施設内で活動するボランティアの受け入れは見合わせたが、花壇の整備のボランティアの受け入れは再開できました。演芸や演奏などのボランティアの受け入れは入居者にとって楽しみのひとつなので、令和6年度は受け入れが再開できるよう検討をすすめます。

(8) 事業報告

1) 地域に開かれたユニットケアを目指します

ア 24時間シートを活用しケアの標準化、質の向上に繋がります

24時間シートを基に、担当者会議や、毎月のミーティングで振り返りを行うことができました。ユニット、多職種と共通認識をもつことができ、個別性を高め、質の向上に繋がったと感じています。

イ 感染状況に合わせた企画・見学・面会・実習受け入れ等を実施します

感染対策は慎重にならざるを得ない流行状況ではありましたが、制限のある範囲であっても秋祭りや敬老会等の行事を実施して入居者に喜ばれる機会が作れました。施設の入居希望者や見学希望者にもユニットの入口までと制限はつけましたが施設内を案内することができました。

ウ 最期まで意向に沿ったケアができるように、看取り介護の体制強化します

32 件の退居の内、30 件が看取り介護となりました。看取り介護委員会主導のもと、看取り介護終了後に関わった全職員がアンケートで振り返りを実施し、それを根拠として偲びのカンファを重ねることができました。

2) 長く働ける職場づくりをします

ア 身体への負担が軽減できる勤務体制を構築し、導入します

令和 5 年度に遅番と夜勤の勤務時間を見直す構想がありましたが、職員の入れ替わりが多く実行できませんでした。通常の業務内容では、短時間勤務の非常勤職員が充実したことで負担が軽減できました。

イ 定時で退勤でき、義務化された 5 日以上の有休が取得できるよう促します

全職員が定時で退勤する意識を強く持つことはできましたが、職員の退職や体調不良等による勤務変更で時間外勤務の多い年度となりました。有休においては、5 日以上取得できるよう配慮ができました。

3) 非常事態（新型コロナ・災害）に備え、有事に動けるようにします

ア BCP マニュアルをもとに周知と訓練、必要物品の用意を行います

感染によるゾーニングを経験しました。実践を通して、ゾーニングの方法や必要物品の取り揃え等、職員それぞれが指示なくとも動くことができるようになりました。結果、感染拡大に至ることなく終息させる事ができました。

イ 日常的に SNS を使用し、迅速な情報の周知を行います

LINE ワークスを活用して、全体への連絡や周知事項をタイムリーに共有ができました。また、各部署の毎にグループを作り、身近な情報も共有や交換ができるようになりました。

4) 虐待・身体拘束防止のため、不適切ケアを改善します

ア 定期的な研修・自己点検の実施をします

委員会の中で各部署における虐待防止や身体拘束廃止の状況を確認することができました。また、全職員を対象にオンラインの研修、自己点検シートを実施しました。

イ 虐待、身体拘束防止のため、不適切ケアを改善します

毎月、各部署で不適切ケアに関して話し合いの場を持つことができています。その内容を運営会議で共有し、施設全体で問題意識をもって、改善に取り組んでいます。

5) 稼働率 97.5% を目指します

ア 多職種と協働し体調管理とスムーズな入退居に努めます

平均稼働率 98.5% となり目標は達成できました。

入院による空床は 226 床/年（前年度 300 床/年）で、看取り介護を希望される方が多

いことで入院するケースが減りました。また、退居から新規入居までの空床は245床／年（前年度660床／年）との結果となりました。32名の退居があり、前年度と同数でしたが、コロナが5類になったことや、空床ができる前に入居前説明を済ませておき、待機者がすぐに入居していただける準備を進めることで稼働率向上に努めました。

4 ヴィラージュ富士ショートステイの活動実績

(1) 施設利用者の状況

ア 利用状況（介護給付）延人数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
富士市	男	43	52	39	41	38	47	49	45	45	58	48	60	565
	女	264	275	263	264	260	244	272	264	267	263	253	230	3119
	計	307	327	302	305	298	291	321	309	312	321	301	290	3684
富士宮市	男	6	5	6	5	6	8	6	3	4	4	0	4	57
	女	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	計	10	7	6	5	6	8	6	3	4	4	0	4	63

アの内、空床利用状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2F	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	24	21	0	10	4	1	12	15	3	3	0	0	93
	計	24	21	0	10	4	1	12	15	3	3	0	0	93
3F	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	2	4	20	7	2	5	1	0	0	0	41
	計	0	0	2	4	20	7	2	5	1	0	0	0	41

イ 介護度・段階別実人数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1段階	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第2段階	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	19
	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

階	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3段階①	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3段階②	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2	2	3	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	12
	3	1	1	2	1	1	1	0	1	1	1	1	2	13
	4	3	3	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	15
	5	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	暫定	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
第4段階	1	8	13	13	12	9	9	9	11	12	13	13	12	134
	2	12	20	17	15	15	16	20	21	18	21	19	20	214
	3	17	13	12	12	10	13	14	12	14	12	12	14	155
	4	11	14	15	15	13	13	14	14	15	12	14	12	162
	5	1	1	0	0	2	1	1	2	1	1	0	1	11
	暫定	1	1	0	2	3	2	1	0	0	0	0	0	10

ウ 一日あたりの利用人数の推移

令和5年4月1日～令和6年3月31日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
10.57	10.77	10.3	10.0	9.81	9.97	10.55	10.4	10.19	10.48	10.38	9.45	10.24

エ 利用状況（介護予防）延人数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
富士市	男	0	2	2	4	2	2	2	4	4	2	2	4	30
	女	11	11	11	11	13	8	10	8	9	15	7	15	129
	計	11	13	13	15	15	10	12	12	13	17	9	19	159
富士宮	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エの内、空床利用状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2F	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3F	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

オ 介護度・段階別実人数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1段階	支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第2段階	支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3段階①	支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3段階②	支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第4段階	支援1	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	12
	支援2	2	3	3	3	3	2	3	3	3	4	2	3	34
	暫定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

カ 一日あたりの利用人数の推移

令和5年4月1日～令和6年3月31日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
0.36	0.42	0.43	0.48	0.48	0.33	0.38	0.40	0.42	0.54	0.30	0.60	0.43

(2) 活動内容

行事・企画報告（企画書立案）

年間行事

開催月	行事	内容	実施日
4月	桜花見企画	花見弁当	4/4
		田子の月おやつ外注・鼻笛コンサート	
5月	母の日企画	フラワーアレンジメント	5/10
6月	父の日企画	写真たて作り	6/15
	食事企画	居酒屋の日	6/20
	恒例企画	新茶の会	6/20
7月	七夕企画	昼食出前企画	7/13
	食事企画	居酒屋の日	7/18
8月	季節行事	花火大会	8/16
	季節企画	アイスクリーム企画	8/22
	食事企画	居酒屋の日	8/24
9月	季節行事	敬老会	9/14
10月	季節行事	ヴィラージュ祭	10/12
	食事企画	わかつきおやつ外注	10/18
11月	趣味活動	フラワーアレンジメント	11/28
12月	季節行事	クリスマス会	12/21
1月	季節行事	初詣外出企画	1/18・19
2月	季節行事	節分企画おやつ外注	2/2
3月	季節行事	お雛飾り作り	3/8
	食事企画	お寿司外注弁当・花見・	3/28

その他 防災訓練 7/11・9/2（総合）・11/1（総合）・2/17

(3) 事業報告

1) 施設内外で活気あるイベントや企画、趣味活動に力を入れていきます

ア コロナウィルス5類の動向に留意しながら安全で楽しい企画を考えます

マスク着用の徹底により月1度の企画やイベントの実施を図りました。昨年度は物作り等の趣味活動がほとんどなく、手指のリハビリも兼ねて実施しました。9月頃より人込みを避け、感染対策をきっちりおこない公園などの散歩外出を開始しました。居酒屋企画が急遽中止になった際には突発散歩・ドライブ外出を敢行しご利用者が楽しむ事が出来ました。また、1月には初詣外出を実施し、その後感染等はありませんでした。

イ 雰囲気を変えた食事の提供、リハビリを兼ねた趣味活動、季節に応じたイベントを盛り上げていきます

七夕や敬老会、花見企画では外注のおやつやお弁当などの提供が出来ました。わかつき、フルーリスなど和洋菓子のおやつを堪能されました。クリスマス会ではマクドナルドのハンバーガーを提供し、初めて召し上がるご利用者もいましたが満足いただける企画になりました。

ウ 地域の感染状況を鑑み、人流を避け、対策を講じつつ外出する機会をつくります

人流を分析し人混みを避け、少人数で中央公園や海に見える丘公園に外出散歩に出掛ける事が出来ました。また、年明けには米の宮神社へ初詣に出掛ける事が出来ました。突発的なドライブや公園外出も行いました。

2) 利用者を知り、自立に向けた支援を心掛けます

ア 満足度アンケートをもとにその方のニーズや思いをくみ取り支援に繋がります

令和4年度に満足度アンケートを実施したが、普段の業務や支援に結びつける事が出来たかは首を傾げる所はあります。意向やニーズの聞き取りについて相談員はもちろんの事、他職員でも出来る事ですが個々の能力により偏りが生じている事もありました。

イ 利用者の自立に向けた、過介助になりすぎない支援を心掛けます

契約時にこの件についてこだわる家族様が多く、細かな情報収集が求められました。職員配置が手薄で過介助に走ってしまいがちであるためゆっくり丁寧な支援を心掛けました。自立支援とアクシデント紙一重で、状況に応じて一部介助や見守りから介助を行いました。

3) 虐待・身体拘束のない職場にします

ア 認知症への理解と尊厳を支えるケアを行なっています

帰宅願望の訴えや泊まる事への理解が乏しい方が増えている中で、傾聴や精神面の安定を図る為の声掛けが出来ました。しかし、認知症の方やこだわりが強い方への声掛けの工夫やアプローチの仕方には個人差があり、不穏を助長させ怒らせてしまう場面もありました。

イ 不適切ケアについて随時振り返りを行なっています

ミーティングでの振り返りを行ないました。毎月施設全体でも振り返りを行なっているため身近に感じる事が出来ました。振り返りを行なう事で当事者以外の職員も振り返りが出来ました。

ウ 職員の悩み・疲労度など皆で共有し一緒に乗り切っています

ゆとりがないと虐待や不適切ケアに繋がってしまうため、意識して業務にあたるようにしていました。

4) 常に数か月後を見越した受け入れを行なっています

ア 1日平均9.7人を目指します

達成できました。下半期は補正し9.8人としましたがそれも達成できた。

イ 新規は積極的に受け入れる、断らない体制をとります

断らない体制はずっと継続して行なっている事で、1度断ってしまうと次に話が来なくなってしまう。重複受け入れをしている事で仕方なく断るケースもありましたが、特養の空床が利用できるか必ず確認しました。

ウ 緊急・長期利用などスムーズな受け入れ体制を行ないます

上半期2件の特養空床利用があったが迅速な受け入れ対応が出来ました。緊急事例はありませんでした。重複予約をしているため、なかなか突発的な新規の問い合わせにいいお返事が出来ませんでした。

エ 介護保険を正しく、理解し、法令に準じたサービスを行なっています。

法令に従い、理解し支援に努めました。

5 ヴィラージュ富士デイサービスセンターの活動実績

(1) 利用者の状況

ア 介護度別利用実人数

令和6年3月分

	事業対象者		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		暫定		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
通常規模	—	—	—	—	—	—	6	23	14	11	5	6	4	8	0	2	0	0	79
総合事業	1	2	0	4	1	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	1	14
計	1	2	0	4	1	5	6	23	14	11	5	6	4	8	0	2	0	1	93
	3		4		6		29		25		11		12		2		1		

イ 介護度別利用延べ回数

令和6年3月分

	事業対象者		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		暫定		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
通常規模	—	—	—	—	—	—	43	244	120	143	70	36	32	68	0	32	0	0	788
総合事業	4	12	0	15	4	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	70
計	4	12	0	15	4	31	43	244	120	143	70	36	32	68	0	32	0	4	858
	16		15		35		287		263		106		100		32		4		

ウ 介護度別割合

通常規模型 (I)

令和6年3月分

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	暫定	合計
延回数	36.42%	33.37%	13.45%	12.69%	4.06%	0.00%	100%

介護予防

	要支援 1	要支援 2	事業対象者	暫定	合計
延回数	21.42%	50.00%	22.85%	5.71%	100%

工 地区別登録者数

通常規模型

令和6年3月分

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
久 沢	8	松 本	1	荒田島	1
厚 原	17	鷹 岡	1	中央町	1
柚 木	1	吉 原	2	青葉町	3
石 坂	3	伝 法	13	依田原	1
今 泉	3	天 間	3	原 田	2
入山瀬	4	中 野	2	本市場	1
岩 本	2	富士見台	1		
大 淵	8	松 岡	1		
				合計	79

介護予防

令和6年3月分

地区名	人 数
久 沢	3
厚 原	4
今 泉	2
大 淵	1
伝 法	3
天 間	1
合 計	14

才 年齢別

令和6年3月分

	通常規模型		予 防	
	男	女	男	女
50歳代	-	-	-	-
60歳代	3	1	-	-
70歳代	7	4	-	2
80歳代	13	21	1	6
90歳代	7	23	1	4
100歳代	-	-	-	-
合 計	30	49	2	12

令和6年3月31日現在

	通常規模	予 防
平均年齢 (昨年)	84.7歳 (81.4歳)	86.8歳 (85.9歳)
最高年齢	98歳	98歳
最低年齢	67歳	75歳

力 年間実績

(通常規模型)

令和5年度

	延人数	前年	1日平均	実人数	新規利用	中止者
4月	725	635	29.0	73	0	4
5月	779	631	28.9	75	3	1
6月	756	655	29.1	75	3	4
7月	697	607	26.8	76	5	4
8月	771	652	28.6	73	4	6
9月	728	681	28.0	70	2	4
10月	735	703	28.3	73	6	4
11月	758	696	29.1	73	4	5
12月	731	687	29.2	72	3	3
1月	681	632	28.4	71	3	2
2月	772	667	30.9	75	3	2
3月	788	790	30.3	79	8	3
合計	8,921	8,036	28.9	885	44	42

(介護予防)

令和5年度

	延人数	前年	1日平均	実人数	新規利用	中止者
4月	68	53	2.7	12	0	0
5月	64	67	2.9	11	0	1
6月	70	66	3.2	11	1	0
7月	67	61	3.4	11	0	0
8月	78	62	3.4	12	0	1
9月	70	75	3.3	12	0	0
10月	87	71	3.3	14	2	0
11月	85	87	3.2	14	0	0
12月	73	81	2.9	13	0	1
1月	69	78	2.9	13	0	0
2月	64	92	2.8	12	0	1
3月	70	95	2.7	14	3	0
合計	865	888	3.1	149	6	4

キ 月別介護度別述べ人数実績 (単位:人)

令和5年度

	事業対象者	要支援		要介護					暫定		合計	
		1	2	1	2	3	4	5	通常規模	予防	通常規模	予防
4月	3	2	7	24	23	11	13	2	-	-	73	12
5月	3	2	6	26	19	12	16	2	-	-	75	11
6月	3	2	6	27	20	11	16	1	-	-	75	11
7月	3	2	6	26	21	11	15	2	1	-	76	11
8月	4	2	6	25	21	10	15	2	-	-	73	12
9月	4	2	6	23	19	11	14	2	1	-	70	12
10月	5	3	6	22	22	10	16	2	1	-	73	14
11月	5	3	6	24	21	12	14	2	-	-	73	14
12月	5	3	5	24	22	11	13	2	-	-	72	13
1月	5	3	5	24	22	8	13	3	1	-	71	13
2月	3	3	4	27	24	9	12	3	1	1	76	11
3月	3	3	6	29	25	11	12	3	-	1	80	13
合計	46	30	69	301	259	127	169	26	5	2	886	147

(2) 活動内容

年間行事

4月	なし
5月	兜作り
6月	新茶の会
7月	ところてん企画
8月	アイス企画
9月	敬老会
10月	ヴィラージュ祭り
11月	寿司の日企画・手芸企画
12月	クリスマス企画
1月	初詣
2月	節分企画
3月	いちご狩り企画

(3) 事業報告

ア 利用者様の想いを汲み取りお一人お一人のペースに合わせ、丁寧な対応・適切なケアを行います

新人職員も多くいる中で、1年を通して利用者の人柄を理解し、個々に合わせた対応ができるようになってきました。毎月のケアを振り返り不適切なケアを改善する努力を全体で行いました。忙しさもあり、業務の効率を優先する職員もいます。利用者の状態把握の周知が不十分でケア内容を更新できていない職員もあり、情報収集への課題は残っていると感じます。少しの変化に気が付き対応できたことで、医療面とのスムーズな橋渡しができたケースもあり、引き続き利用者の異変の早期発見に努めます。利用者の希望する余暇活動のニーズを引き出し、少人数のチームで作品作り等の趣味活動を充実し作品を完成させる達成感を味わっていただくことができました。

イ 感染対策を徹底し、罹患者を出さない・拡げない・持ち込まない。また、事業は休まず継続します

適切な方法と指定の薬剤の使用を行い整理、整頓を心がけています。引き続き感染対策を徹底していきます。年末の片づけではフロアの整理整頓ができ、日ごろ手をまわせない細かい箇所の清掃も実施できました。日ごろからの5Sを心掛けていきます。中堅職員や看護師、訓練士が利用者の少しの様子の変化に気づき、その都度必要な対応をしている場面を見てきた事で、新人職員も見て覚え、少しの変化に気づいた時には相談し、質問するようになってきたと感じます。引き続き専門職を中心として利用者の体調管理に努めます。

ウ 職員同士が連携し、チームの輪を乱さず、全員で問題解決に向けて考えます

新人にはOJTでの面談を行い上司との情報交換を行いました。全体のミーティングでは先輩後輩、専門職の垣根なく自由に意見交換ができる雰囲気づくりに心がけました。まだまだ発言や意見を出すことより自分の仕事で精一杯な職員も多いのが現状です。新人の悩みや困りごとに気づき配慮のある役割分担を行いました。スキルに合わせ無理のないように分担します。また他職員からの不満などが発生しないよう中堅でフォローしています。報・連・相の意識付けを身に着けられるよう声掛けを続けています。重要な情報の優先順位などスキルによって違いがあります。引き続き中間評価の内容を継続し育成の課題としていきます。

エ 社会の変化やニーズに対応し数あるデイサービスの中から選ばれる施設にします

相談員は関係部署や家族との情報共有に努めています。居宅訪問や、担当者会議などで相談員は顔つなぎをすることができ、信頼される窓口業務を確立している最中です。引き続き、営業活動、丁寧な窓口対応を行っていきます。後期の実績目標も達成できました。加算取得の条件が確認不足であった時期もありましたので、確認を徹底して行っていきます。相談員だけではなく、全職員で提供するサービス内容、加算の取得について理解できるようにしていきます。

6 ヴィラージュ富士デイサービスセンター認知症対応型の活動実績

(1) 利用者の状況

ア 介護度別利用実人数

令和6年3月分

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		暫定		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
認知症対応型	/		/		2		/		1		/		2 1		/		6
計					2				1				3				

イ 介護度別利用延べ回数

令和6年3月分

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		暫定		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
認知症対応型	/		/		20		/		14		/		10 7		/		17
計					20				14				17				

ウ 介護度別割合

認知症対応型

令和6年3月分

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	暫定	計
延回数	39.21%	0.00%	27.45%	0.00%	33.30%	/	100%

予防認知

	要支援1	要支援2	事業対象者	暫定	計
延回数	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0%

エ 地区別登録者数（認知症対応型）

令和6年3月分

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
厚原	2	大淵	3	伝法	1
広見	1	—	—	—	—
				合計	7

オ 年齢別

令和6年3月

	通常規模型		予防	
	男	女	男	女
50歳代	—	—	—	—
60歳代	—	—	—	—
70歳代	3	1	—	—
80歳代	—	1	—	—
90歳代	—	2	—	—
100歳代	—	—	—	—
合計	3	4	0	0

	通常規模
平均年齢	81.8歳
最高年齢	91歳
最低年齢	73歳

カ 年間実績
(認知症対応型)

令和5年度

	延人数	前年	1日平均	実人数	新規利用	中止者
10月	34	—	1.7	5	5	—
11月	51	—	2.0	5	1	1
12月	80	—	3.2	8	3	—
1月	84	—	3.5	7	—	—
2月	76	—	3.0	7	—	—
3月	51	—	2.0	6	1	—
合計	376	—	2.6	38	10	1

キ 月別介護度別述べ人数実績(単位:人) 令和5年度

	要支援		要介護					暫定		合計	
	1	2	1	2	3	4	5	要介護	要支援	要介護	要支援
10月	0	0	2	1	1	0	1	0	0	5	0
11月	0	0	2	1	1	0	1	0	0	5	0
12月	0	0	2	2	3	0	1	0	0	8	0
1月	0	0	2	1	3	0	1	0	0	7	0
2月	0	0	2	0	2	0	3	0	0	7	0
3月	0	0	2	0	1	0	3	0	0	6	0
合計	0	0	12	5	11	0	10	0	0	38	0

(2) 活動内容

年間行事

10月	ヴィラージュ祭り 花壇の花植え
11月	寿司の日企画・手芸企画
12月	クリスマス企画
1月	初詣
2月	節分企画
3月	いちご狩り企画

7. ヴィラージュ富士居宅介護支援事業所の活動実績

(1) 介護度別介護計画作成状況

介護給付

(単位：件)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	暫定	合計
4月	39	40	17	18	4	0	118
5月	40	34	18	22	2	0	116
6月	40	36	18	20	2	0	116
7月	41	34	17	19	3	0	114
8月	40	34	15	18	3	0	110
9月	40	34	15	19	3	0	111
10月	38	34	16	19	2	0	109
11月	38	36	17	15	2	0	108
12月	35	36	17	15	3	0	106
1月	34	37	15	15	5	0	106
2月	33	35	17	13	6	0	104
3月	36	35	18	12	5	0	106
合計	454	425	200	205	40	0	1324

予防給付

(単位：件)

	要支援 1	要支援 2	暫定	合計
4月	9	22	0	31
5月	9	24	0	33
6月	9	25	0	34
7月	6	28	0	34
8月	8	30	0	38
9月	8	28	0	36
10月	8	29	0	37
11月	8	28	0	36
12月	9	27	0	36
1月	9	27	0	36
2月	10	29	0	39
3月	11	26	0	37
合計	104	323	0	427

総合事業

(単位：件)

	要支援 1	要支援 2	事業対象者	暫定	合計
4月	6	11	8	0	25
5月	8	9	8	0	25
6月	8	10	8	0	26
7月	7	10	7	0	24
8月	6	5	7	0	18
9月	6	9	7	0	22
10月	6	6	9	0	21
11月	6	6	9	0	21
12月	5	7	8	0	20
1月	6	5	7	0	18
2月	5	5	6	0	16
3月	5	5	5	0	15
合計	74	88	89	0	251

(2) 活動内容

ア その他介護保険及び福祉サービスなどの手続き

① 住宅改修	5件
② 介護保険申請代行	30件
③ 福祉サービスの申請	8件
④ その他（福祉用具・障害者控除・介護保険負担限度額認定申請等）	2件

イ 介護保険相談・苦情件数

(R5.4月～R6.3月) (単位：件)

区分	件数
(1) 居宅宛	0
(2) 他事業所宛	6
(3) その他	0
合計	0

ウ 介護保険及び福祉に関わる会議の開催参加

(ア) 担当者会議	205件
(イ) 居宅定例ミーティング（月1回）	
(ウ) 情報周知会議（週1回）困難事例や緊急事例の情報共有や相談	
(エ) 法人居宅部門会議（年4回）	

エ 事業所等への訪問

(単位:件)

事業所	行政機関	医療機関
264	175	47

オ その他

外部研修

- ・ 富士市福祉部介護保険課主催
富士市介護支援専門員アセスメント力向上研修 (オンライン+集合研修)
介護給付適正化セミナー
- ・ 富士市福祉部高齢者支援課主催
富士市主任介護支援専門員全体会
令和5年度 ヤングケアラー研修
- ・ 鷹岡地域包括支援センター
介護支援専門員資質向上研修会
エリア内研修

8 ヴィラージュ富士高齢者支援窓口の活動実績

(1) 高齢者支援窓口の相談状況

ア 支援窓口の活動

区分	年度	令和4	令和5
地域ケア会議等の参加	(回)	1	1
地区民児協への参加	(回)	11	12
出前講座の実施	(回)	1	2
移動相談の実施	(回)	0	1
関係団体への会議等への参加	(回)	1	2
ネットワークづくりの活動	(回)	0	0
実態把握件数	(件)	3	4
見守り継続支援件数	(件)	12	14

イ 相談方法

区分	年度	令和4	令和5
来 所	(延べ人数)	1	0
電 話	(延べ人数)	1	0
移動相談(出張含む)	(延べ人数)	0	0
訪 問		12	14
合 計		14	14

ウ 相談者

(単位：人)

区分	年度	
	令和4	令和5
本人	4	0
家族・親族	2	0
知人・友人	0	0
民生委員・児童委員	3	0
行政機関	0	0
介護支援専門員	0	0
介護保険サービス事業所	0	0
地域包括支援センター	11	13
関係委員	0	0
障害者福祉関係機関	0	0

エ 相談内容

(単位：件)

区分	年度	
	令和4	令和5
介護相談（介護方法等）	1	0
介護予防事業について	3	0
介護保険について	1	0
生活全般に関する事	9	12
保険・医療機関	0	0
行政機関	0	0
介護支援専門員	0	0
福祉サービスについて	2	0
権利擁護（成年後見・消費者被害）	0	0
虐待	0	0
認知症	1	0
その他	2	0
助言終了	2	0
継続支援（見守り含む）	11	7
他機関紹介	0	0
福祉サービスの紹介	0	0
介護保険の紹介	1	0
受診のすすめ	0	0
要訪問	2	6
その他	1	0

Ⅲ ヒューマンヴィラ伊豆事業報告書

1 事業概況

令和5年度は、感染症による影響を受けた1年となりました。

特養部門においては、上半期については、目標の98%を上回る月もあり、安定した稼働率を維持することができました。しかし、下半期に感染症による影響を受け、結果として減収を余儀なくされました。また、ショートステイ、デイサービスも同様に一定期間のサービス休止を余儀なくされるなど影響を受けました。

今回の感染症発生を受け、改めて基本的な感染予防策、具体的事業継続計画、食料の備蓄、本部、各施設との連携の重要性を認識しました。今後についても日常の衛生管理を継続しつつ、施設、委託業者による巡視、確認の強化により再発防止に努めてまいります。また、新興感染症含め、有事の際においてもご入居者が安心して生活できる、職員が落ち着いて業務を遂行できる体制を整えてまいります。

その他、職員配置は部署間の協力により柔軟に対応しておりますが、依然厳しい状況が続いております。見守り機器の活用等により業務省力化に努めておりますが、今後機器の増大など拡充を計画しております。大規模修繕とあわせて中・長期計画に基づき実施し、職員、ご利用者にとって過ごしやすい施設づくり、皆様が安心して生活できるよう、取り組んでまいります。

2 各サービスの事業概要

(1) 特別養護老人ホームヒューマンヴィラ伊豆

令和5年度は、稼働率の平均が95.5%、前年度稼働率平均97.5%の対比-2%となりました。入院数は、年間38人延べ521日（前年度134日）となりました。空床増の大きな要因は、11月6日～12月22日までの食中毒事故の発生その後、令和6年1月16日～2月14日の期間においても感染症の発生があり、空床日数増の大きな要因となりました。現在も尚、入居者の日頃の健康面の観察を行い、嘱託医・看護・介護連携の良い関係性の施設づくりの意識を高く持ち、入居者の生活維持に取り組んでおります。

(2) ヒューマンヴィラ伊豆ショートステイ

今年度は年間を通して新規ご利用者の相談も多くあり、柔軟な受け入れ態勢を整え、受け入れを行った結果、総利用者の平均人数14～15人を保つ事ができました。感染症の発生によりサービスを一時制限しましたが、その後大きな影響なく、稼働率の維持に繋がれたと感じています。

部署としては、職員メンバーも変わり、よりチームワークを高めた活動ができたと感じております。令和6年度もよりチームワークを高め、一人一人が成長しショートステイとしての活動の幅を広げられるよう取り組んでいきたいと思っております。

(3) ヒューマンヴィラ伊豆デイサービスセンター

令和5年度は、利用実人数は一般型56件、総合事業11件、延べ人数は一般型533件、総合事業67件と前年度から少しずつ回復してきている状況からスタートしましたが、実

人数、延べ人数ともに一般型：42件、406件、総合事業：7件、47件とかなり厳しい実績となっております。

8月頃より入院者、死亡者、体調不良、感染予防対策による利用中止（休止）者が増加しております。逆に、新規利用相談件数は減少傾向で中止者を大きく上回る結果となりました。

中止者が多い理由としては当事業所を利用している平均年齢が高いことから体調を崩す利用者が多くを占め、利用できない状況になってしまったケースが多くあります。また、慢性的な疾患を持っている利用者は施設内や地域で新型コロナウイルス等の感染症が蔓延した場合に積極的に利用休止するケースも多く見られます。新規利用相談の減少については人口減少が進んでいる地域であることも影響しておりますが、小規模やデイサービス事業を単独で行っている事業所と比べて感染症の影響を受けやすい点も影響しております。次年度に向けて施設内クラスターなどが発生した場合にいかにデイサービスセンターとして特別養護老人ホームの運営に協力しながら事業運営を継続できるのか、より具体的なBCPの運用が課題になってきます。合わせて、新規利用相談の増加を目指す必要があります。自事業所である「かも居宅介護支援事業所」と他事業所では西伊豆町社会福祉協議会を中心に現在、利用しているご利用者の利用状況などをケアマネジャー目線で効果的な報告を実施し、連携強化を図ることで新規利用相談をしやすい事業所運営を行います。新年度は介護保険法改正の年となります。法改正した内容に沿った事業所運営ができるように対応していきます。

（４）かも居宅介護支援事業所

今年度は、担当ケアマネジャーが変更となり、地域において新たなネットワーク、人脈作りからスタートしました。件数は少ないですが、お一人お一人のニーズを十分把握し、手厚い支援を心掛けてまいりました。また、予防プランについても同様に、担当エリアを絞ることにより効率的な活動を行うことができました。

引き続き、社会資源は少ないですが、ご利用者が安心して在宅で生活ができるよう、取り組んでまいります。

3 特別養護老人ホーム ヒューマンヴィラ伊豆の活動実績

(1) 施設入居者の状況

ア 入退所の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	4	1	18
退所	1	1	1	1	1	1	3	4	1	3	0	4	21
末日	55	55	55	55	55	55	54	51	52	51	55	52	53.7

イ 市町別入居者

	男	女	計
西伊豆町	7	32	39
松崎町	5	6	11
伊豆市	0	1	1
河津町	0	0	0
横浜市	0	2	2
沼津市	0	0	0
計	12	41	53

ウ 入居前

子どもと同居	16
老々世帯	13
独居	9
一般病棟	3
療養型医療施設	4
老人福祉施設	1
その他	7
計	53

エ 退居

在宅復帰	1
死亡	18
長期入院	2
計	21

オ 入居者の年齢別階層

年 齢	男	女	計
55～59	0	0	0
60～64	0	1	1
65～69	0	0	0
70～74	0	2	2
75～79	2	1	3
80～84	3	10	13
85～89	2	8	10
90～94	4	12	16
95～99	0	6	6
100～104	1	1	2
計	12	41	53

	男	女
最高年齢	105	102
最小年齢	78	62
平均年齢	88	87.5
全体平均	87.6	

(2) 要介護度分布

ア 要介護別

	男	女	合計
要介護1	0	0	0
要介護2	1	0	1
要介護3	3	13	16
要介護4	6	19	25
要介護5	2	9	11
合計	12	41	53
平均介護度			3.96

イ 年齢別要介護度分布

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
55～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
65～69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
75～79	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
80～84	0	0	0	0	1	4	1	4	1	2	13
85～89	0	0	0	0	0	2	1	4	1	2	10
90～94	0	0	0	0	2	6	2	5	0	1	16
95～99	0	0	0	0	0	1	0	4	0	1	6
100～104	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
計	0	0	1	0	3	13	6	18	2	9	53

ウ 所持品引受人の状況

	配偶者	実子	養子	兄弟・姉妹	孫	子の配偶者	甥・姪	従兄弟・従姉妹	その他	計
男	3	20	0	0	0	0	1	0	3	27
女	2	17	0	3	1	2	1	0	0	26
計	5	37	0	3	1	2	2	0	3	53

(3) 入院・外泊状況等

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	人数	1	2	3	4	3	1	2	10	4	4	3	1	38
	日数	10	26	38	42	38	21	7	151	73	81	30	4	521
外泊	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	99.2	98.2	97.3	96.9	97.6	98.5	98.7	86.7	88.6	89.8	95.1	96.8	95.5

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計/ 平均
新規 入居	人数	1	1	1	1	1	1	2	0	2	2	4	1	17
	空床	2	4	6	10	3	3	14	67	120	92	48	49	34.8

(4) 費用（介護サービス料）負担の状況

費用（円）	人数（人）
0～19,999	0
20,000～39,999	1
40,000～49,999	1
50,000～59,999	6
60,000～69,999	9
70,000～79,999	1
80,000～89,999	8
90,000～99,999	0
100,000～	27

(5) 利用者負担段階の状況

負担段階	人数
第1段階	1
第2段階	7
第3段階①	9
第3段階②	8
第4段階	28

(6) 実施行事食

月	行事名	献立名
4月	ひな祭り	五日ちらし・豆腐とひき肉の落とし揚げ・青菜のお浸し・果物・すまし汁
	食企画	豆腐ドーナッツづくり
5月	こどもの日	山菜おこわ・鯖の味噌マヨ焼き・炊き合わせ・白菜の生姜漬け・果物・すまし汁・おやつ 練り切り(鯉のぼり)
7月	七夕	七夕そうめん・かき揚げ・炊き合わせ・杏仁豆腐・おやつ練り切り
	納涼祭	焼き鳥・いなり寿司・そうめん・ゼリー・ケーキ 綿あめ

8月	食企画	かき氷づくり
9月	敬老会	赤飯・銀むつの煮付・天ぷら・煮物・ごま豆腐・茶碗蒸し・漬物・果物・汁物・おやつ和菓子
	食企画	コーヒーフロートづくり
10月	食企画	どら焼きづくり・お汁粉づくり
12月	クリスマス食	エビピラフ・鶏肉のオープン焼き・茹で野菜のサラダ・果物・コンソメスープ おやつ クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば・かき揚げ・白和え
1月	おせち料理	赤飯・鶏肉の八幡巻き・炊き合わせ・紅白蒲鉾・伊達巻き・果物・すまし汁 おやつ 練り切り
3月	ひな祭り	五目ちらし寿司・きんぴらごぼう・キャベツのじゃこ和え・果物・すまし汁 おやつ 練り切り

(7) ボランティア

団体名	活動内容
三田商店	食品販売
ワークショップマナ	パン販売
須田メガネ	時計ベルト・眼鏡の調整とクリーニング

(8) 研修の実施状況

ア 外部研修

8/5～12/18	堤ゆう子	期間中の計7回 介護福祉士実務者研修
4/1～9/30	稲葉晋	期間中の計7回 介護福祉士実務者研修
8/9～9/27	石田光昭	期間中の計7回 介護福祉士実務者研修
10/25	勝呂秋音	しずおか新任介護職員向け交流研修

イ 内部研修

日程	内容
5月25日～30日	VRE感染症について・施設内対応方法
9月10日～22日	感染症とは何か・新型コロナウイルスについて (講義と実技)
10月20日～25日	食中毒と感染性胃腸炎について
11月20日～25日	冬の感染症について・インフルエンザについて
12月1日～29日	吐物処理方法について (実技)
偶数月 (各部署にて)	身体拘束防止について

4 ヒューマンヴィラ伊豆ショートステイの活動実績

(1) 利用者の状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西伊豆町	男	183	164	141	154	145	173	199	127	171	145	133	166	1,901
	女	210	284	237	269	251	224	236	240	249	194	233	280	2,907
	計	393	448	378	423	396	397	435	367	420	339	366	446	4,808
松崎町	男	9	0	6	0	0	0	0	21	27	0	0	0	63
	女	49	18	57	49	55	25	27	8	4	8	19	28	347
	計	58	18	63	49	55	25	27	29	31	8	19	28	410
伊豆市	男	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	男	192	164	147	154	145	173	199	148	198	145	133	166	1,964
	女	259	302	294	318	306	249	263	248	253	202	252	308	3,254
	計	451	466	441	472	451	422	462	396	451	347	385	474	5,218
宿泊者のみ	計	383	398	373	407	383	366	398	341	396	305	338	408	4,496
平均(総利用)		15.03	15.03	14.70	15.23	14.55	14.07	15.40	13.20	14.55	11.19	13.28	15.29	14.29
平均(宿泊者)		12.83	12.84	12.43	13.13	12.35	12.20	13.27	11.37	12.77	9.84	11.66	13.16	12.32

(2) 要介護度別月延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
要支援2	0	0	3	3	3	3	3	3	7	7	6	8	46
要介護1	80	70	66	87	84	79	87	63	67	63	87	91	924
要介護2	198	172	177	174	139	113	111	124	139	124	121	138	1,730
要介護3	79	95	100	118	130	130	161	112	145	86	106	111	1,373
要介護4	62	75	55	60	65	65	69	68	73	45	42	91	770
要介護5	27	54	30	30	30	32	31	26	20	22	23	35	360
計	451	466	431	472	451	422	462	396	451	347	385	474	5,214
申請中	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

5 ヒューマンヴィラ伊豆デイサービスの活動実績

(1) 利用者の状況

ア 介護度別利用実人数

令和6年3月31日現在

介護予防(相当)	事業対象者		要支援1		要支援2		計
	男	女	男	女	男	女	
	0	1	0	0	2	4	

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
一般型	1	10	6	9	3	9	1	1	1	1	42
計	1	10	6	9	3	9	1	1	1	1	42

イ 介護度別利用延べ人数

令和6年3月31日現在

介護予防(相当)	事業対象者		要支援1		要支援2		計
	男	女	男	女	男	女	
	0	2	0	0	16	29	

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
一般型	9	105	48	91	31	71	12	8	13	18	406
認知症型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	105	48	91	31	71	12	8	13	18	406

ウ 地区別登録者数

一般

認知

総合事業

地区名	人数	利用回数	地区名	人数	利用回数	地区名	人数	利用回数
宇久須	15	127	宇久須	0	0	宇久須	2	8
安良里	13	129	安良里	0	0	安良里	1	8
田子	12	129	田子	0	0	田子	4	31
仁科	1	12	仁科	0	0	仁科	0	0
土肥	1	9	土肥	0	0	土肥	0	0
合計	42	406	合計	0	0	合計	7	47

エ 年齢別

令和6年3月31日現在

	男			女			計		
	一般	認知	総合事業	一般	認知	総合事業	一般	認知	総合事業
50歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70歳代	2	0	0	1	0	0	3	0	0
80歳代	6	0	1	15	0	3	21	0	4
90歳代	4	0	1	14	0	2	18	0	3
100歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	0	2	30	0	5	42	0	7

カ 最高・最低・平均年齢

	男			女		
	一般	認知	総合事業	一般	認知	総合事業
平均年齢	86.8歳	0	87歳	88.8歳	0	90.6歳
最高年齢	96歳	0	92歳	97歳	0	96歳
最低年齢	76歳	0	82歳	73歳	0	88歳

キ 年間実績

(一般型)

	延べ人数	一日平均	登録者数	新規利用者	再利用者	中止者
4月	533	21.32	56	0	0	3
5月	595	22.04	60	1	3	0
6月	557	21.42	60	2	0	2
7月	563	21.65	60	3	1	4
8月	538	19.93	54	0	1	7
9月	515	19.81	58	3	2	1
10月	518	19.92	55	0	0	3
11月	469	18.04	55	0	1	1
12月	441	17.64	50	1	0	6
1月	398	15.92	46	0	2	6
2月	416	16.64	46	2	1	3
3月	406	15.62	42	0	1	5
計	5,949	19.16	642	12	12	41

(総合事業)

	延べ人数	一日平均	登録者数	新規利用者	再利用者	中止者
4月	67	2.68	11	0	0	0
5月	71	2.63	9	0	0	2
6月	63	2.42	8	0	0	1
7月	67	2.58	10	1	1	0
8月	69	2.56	10	0	0	0
9月	39	1.50	6	0	0	4
10月	43	1.65	7	0	1	0
11月	46	1.77	7	0	0	0
12月	48	1.92	7	0	0	0
1月	46	1.84	7	0	0	0
2月	53	2.12	8	1	0	0

3月	47	1.81	7	0	0	1
計	659	2.12	97	2	2	8

ク 月別中止理由延べ人数

	入院		死亡		入所		転居		都合		その他		計
	一般	総合事業	一般	総合事業	一般	総合事業	一般	総合事業	一般	総合事業	一般	総合事業	
4月	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
6月	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
7月	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
8月	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	7
9月	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
11月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
12月	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	6
1月	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6
2月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
3月	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	6
計	21	2	6	1	3	0	0	0	0	4	11	1	49

ケ 月別介護度別実績

	事業対象者	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計
		総合事業	総合事業	一般	認知	一般	認知	一般	認知	一般	認知	一般	認知			
4月	6	7	54	152	0	222	0	97	0	54	0	8	0	600		
5月	5	5	61	165	0	204	0	127	0	90	0	9	0	666		
6月	0	4	59	177	0	178	0	109	0	84	0	9	0	620		
7月	4	7	56	202	0	158	0	121	0	74	0	8	0	630		
8月	4	10	55	193	0	123	0	143	0	61	0	18	0	607		
9月	4	4	31	208	0	112	0	123	0	50	0	22	0	554		
10月	5	3	35	201	0	137	0	113	0	42	0	25	0	561		
11月	2	4	40	196	0	122	0	91	0	35	0	25	0	515		
12月	4	0	44	160	0	124	0	89	0	39	0	29	0	489		
1月	3	0	43	103	0	141	0	90	0	28	0	36	0	444		

2月	3	2	48	115	0	135	0	94	0	44	0	28	0	469
3月	2	0	45	114	0	139	0	102	0	20	0	31	0	453
計	42	46	571	1,986	0	1,795	0	1,299	0	621	0	248	0	6,608

(2) 年間行事・活動報告

ア 年間行事

※感染リスクが低い時期に行事を実施

5月	おやつ作り
8月	夏祭り
9月	敬老週間（敬老の祝い）

イ 誕生日カードの作成 毎月実施

6 かも居宅介護支援事業所の活動実績

(1) 介護度別介護計画作成状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	13	6	1	0	0	20
5月	13	6	1	0	0	20
6月	13	6	1	0	0	20
7月	13	5	2	0	0	20
8月	12	5	2	0	1	20
9月	13	6	2	0	2	23
10月	13	6	2	0	2	23
11月	13	6	2	0	2	23
12月	13	7	3	0	3	26
1月	13	7	3	0	3	26
2月	12	5	6	0	3	26
3月	12	5	6	0	3	26
合計	153	70	31	0	19	273

予防プラン作成の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29

要介護認定調査件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(2) 活動内容

申請代行等の活動状況

- ・ 住宅改修 2 件
- ・ 介護保険の申請代行 2 件

IV デイサービスセンター美原事業報告

1 事業概況

異動による管理者等の変更もあり戸惑いの中で始まった年度当初でありました。その中でも、職員一人一人が自分の持ち場を精一杯業務につとめ、徐々に新しい形をつくることができ、新たなチームワークを築き上げることができました。

月によっては目標値を下回ることもありましたが、年度が終わってみれば、通所・居宅部門ともに目標値を上回る業績を達成することができました。達成にあたって、事務部門の管理・サポートも貢献できていたと思います。

慢性的な介護職員の人員不足、コロナ5類以降の制限していたサービス内容の再開、地域との関わり、業務の効率化等、課題としてみえてきました。

いままでのやり方を踏襲するかたちで、令和5年度は終えましたが、課題が見えたことは大きな成果ととらえています。

2 各サービスの事業概要

(1) デイサービスセンター美原 大規模型

令和5年度の活動実績は、要介護者においては当初目標に対して101.6%の稼働となりましたが総合事業では93.9%となり、大規模全体では当初目標に対して100.3%でした。

昨年度の反省を踏まえ感染症による事業継続を意識した対応をとったため、休業することはありませんでした。コロナウイルスの疑い者・陽性者が出た際には迅速に接触者を確認し抗原検査を実施することができ、幸いにも感染の拡大にはいならず大幅な利用の制限をすることもありませんでした。ただ、徐々に以前の日常に戻る中、制限していたサービスを再開するのに慎重になりすぎた面もありました。年々総合事業の稼働が低くなっていることから、事業所としての課題を捉えることができました。年度末に利用頻度の高い利用者の入所やご逝去で稼働の落ちる月もありましたが、積極的な営業や柔軟な新規の受け入れを進め稼働の回復に努め、成果として令和6年度に繋げることができました。

(2) デイサービスセンター美原 認知症対応型

令和5年度は4月より目標数値をはるかに超えた幸先の良いスタートを切ることが出来、上半期は中止者もあったものの非常に良い結果を残すことが出来ました。しかし、12月から2月にかけてはご利用者の状態変化が著しく、中止者が立て続いたことで実績が伸び悩み、1月以降は目標数値を下回ることとなりました。年間の活動実績は当初目標に対して117.6%、稼働率は75.37%でした。

ご利用者の動向については中止者が計10名だったことに対し新規利用が2名とアンバランスな結果となりました。年明けから営業活動を積極的に行い、その成果が徐々に表れ令和6年度に繋げることができました。

感染症対策については水際対策に力を入れ、症状のあるご利用者や職員に対しては出来る限り施設内に持ち込まないような取り組みを行い、感染拡大に繋がることもなく事業継続することが出来ました。

コロナウイルス感染症が第5類になったことで徐々に活動の場を広げご利用者との外出

も再開いたしました。

午後のレクリエーションの時間を使い機能訓練を兼ねた外出を実施しました。また、季節の壁画作りを年間通して行い、皆様で力を合わせて素敵な作品を仕上げることが出来ました。福祉展にも出品し多くの皆様の目にも止まったことと思います。

個別の対応ではご利用者の状態に合わせて職員が寄り添い、お一人お一人が穏やかに落ち着いて過ごせるよう環境を整えてきました。認知症状が強く出現された方については、その方が落ち着くことが出来るために自分たちは何が出来るのかを考え対応してきました。ご利用者の言動からその方に何が起きているのかを考え、対処ではなく対応方法を職員皆で模索する力をつけていくことを課題としてとらえることができました。チーム力を高め、一人一人のご利用者と向き合っていきたいと考えます。

(3) 美原居宅介護支援事業所

今年度はグループ目標を念頭に居宅内、デイサービスセンター美原内で取り組みました。長く続く感染対応については、引き続き予防を意識し出勤時の検温やマスクの装着、外出時のうがい・手洗い、訪問時の確認と対応を行い自らが感染源とならないよう予防と対策を強化しました。

今年度の研修はオンラインと集合型での研修受講となりました。オンラインでの個々の機器操作等も含め介護支援専門員として知識の習得に取り組み、研修内容や情報を伝達・共有することで事業所としての資質の維持向上に努めました。集合型の研修では市内の居宅介護支援事業所や圏域の事業所とのグループワーク等から事業所としての研鑽の機会も持つことができました。

広見地区民生委員との連携としての研修を富士市福祉総務課、富士市社会福祉協議会、北部包括支援センター、広見地区民生児童委員、小規模多機能型居宅介護事業所と共に、地域に住む高齢者の安心安全を確保し利用のための社会資源や協力体制について次年度に繋ぐ研修を行いました。

地域包括ケアの取り組みとしては、複数の課題の生じた事例においてご利用者、ご家族、成年後見人、富士市高齢者支援課の担当者や包括支援センター担当者、介護事業所の相談員、障害事業所の支援相談員、かかりつけ病院の相談員や看護師、地区の民生委員等の支援チームによる在宅支援を継続しました。

また、各関係機関からの新規依頼については迅速な対応を心掛け、地域の協力と支援チームの連携強化により専門性を生かし、状況に応じた対応に務めました。

数値目標の達成状況は、要介護区分 99.6% 要支援区分 99.4%となりました。

3 デイサービスセンター美原の活動実績

(1) 利用状況

年間実績 (単位：人)

	実人数			延べ人数			1日平均			新規利用			利用中止		
	一般	予防	認知	一般	予防	認知	一般	予防	認知	一般	予防	認知	一般	予防	認知
4月	60	16	23	666	102	272	26.6	4.1	10.9	2	0	0	3	2	1
5月	63	15	22	751	100	274	27.8	3.7	10.1	5	0	0	1	1	0
6月	62	16	21	732	100	262	28.2	3.8	10.1	1	1	0	1	1	0
7月	60	16	21	769	104	264	29.6	4.0	10.2	0	1	0	0	1	2
8月	60	15	21	729	97	258	27.0	3.6	9.6	1	0	0	4	0	0
9月	57	14	19	669	93	250	25.7	3.6	9.6	0	0	0	3	1	1
10月	61	12	19	692	74	224	26.6	2.8	8.6	4	0	0	0	1	0
11月	58	11	20	683	87	251	26.3	3.3	9.7	2	0	1	1	3	0
12月	59	13	20	703	86	214	27.0	3.3	8.2	2	1	1	0	0	2
1月	60	13	18	624	82	192	26.0	3.0	7.1	1	0	0	3	0	2
2月	55	14	15	652	83	175	26.1	3.3	7.0	1	1	0	5	0	2
3月	53	14	15	640	95	168	24.6	3.7	6.5	1	0	0	1	0	0
合計	708	169	234	8310	1103	2804	26.8	3.5	9.0	20	4	2	22	10	10

(2) 年間実施行事

防災に関する稼働を毎月1回実施した。認知症対応型は外出や年間を通して壁画作りを行った。

日付	行事
5月17日	美原大運動会 (大規模・認知症対応型)
5月22日・25日	22日：田子の浦港の丘見える公園 25日：中央公園 (認知症対応型)
7月	外出：ひまわり畑 (認知症対応型)
9月15日	敬老会 (大規模・認知小対応型)
10月	外出：田子の浦港が見える丘公園・今宮のドーム菊 (認知症対応型)
11月16日	美原秋祭り (大規模・認知症対応型合同)
12月19日	クリスマス会 (大規模・認知症対応型合同)
1月8日～10日	正月初詣企画 (屋内実施) どんど焼き飾り作成 (大規模・認知症対応型合同)
2月3日	節分豆まき企画

(3) 事業報告

ア 地域の皆様に信頼され、選ばれる施設づくりへの取り組み

短時間利用、総合事業の入浴サービス、送迎上の個別性の高いケース、個別的な機能訓練等のケース等を積極的に受け入れました。また、ご利用者のニーズに応えるべく訪問理美容の導入を行いました。今後も利便性の高い事業所を目指していきます。総合事業等の運動器の機能向上の対応が十分でない点、コロナ以前の企画や地域活動の再会が課題としてとらえることができました。

イ 働きやすく、利用したくなる環境整備

今年度採用者の内、入職後すぐに退職となるケースが4名ありました。退職理由は、家庭環境と働き方の不一致が多く、今後は十分な説明や柔軟な提案をして改善したいと考えています。

採用者用の業務マニュアルも見直しをし、受け入れ体制を整備しました。人員不足の中、チームワークを意識し職員間の結束力はより強固になったと感じます。介護補助職員を採用し介護職員による残業の軽減を達成することができました。また、働きやすい介護事業所として更新することができました。慢性的な人手不足を改善することに努めます。

ウ 感染症発生時の適切な対応と事業継続できる体制構築

利用者、職員を含め5件のコロナ対応となりました。日常的な感染予防を徹底し、発生時点で迅速に検査、接触者の確認、家族・関連機関への連絡を実行することができました。そのため、長期間の感染拡大とはならず事業を継続することができました。

エ 職員の育成強化

全体研修やキャリアラダー研修を活用し、知識と対応力を備えた職員の育成を行うことができました。

オ 収入増を目指し、安定した施設運営を行う

コロナによる感染拡大はなく事業を休業することなく継続できたことで、安定した稼働となりました。特に認知症対応型は、個別性の高いケアを保つことで高い水準を維持することができました。前年度と比較し一般型は195名、認知症対応型は762名多い実績となりました。一方で、12月から体調不良による中止が続き想定以上の利用が減少となっています。総合事業のニーズに対応できる体制づくりが課題として見えました。年度内の回復はできませんでしたが、営業活動を通して積極的な新規受け入れ、利用回数の増加が見込まれているため、令和6年度に向けて繋げることはできました。

(4) 職員の研修及び委員会等

ア 外部研修

主催	研修名	参加人数
静岡労働局長登録教習機関	衛生推進者講習	1名
静岡県社会福祉協議会	社会福祉法人予算管理講座	1名
静岡安全運転管理協会	安全運転管理者講習会	1名
富士市介護保険事業者連絡協議会	第20回富士市介護サービス研究集会	3名
リハブクラウド	2024年度 介護報酬改定ついに明確化する改定方針と重要ポイント	1名
静岡県社会福祉協議会	社会福祉法人決算業務講座	1名

イ 内部研修

研修は感染予防の観点から控え、感染予防や身体拘束、高齢者虐待、リスクマネジメントの研修をオンライン動画で実施した。

ウ ミーティング及び任意の委員会

ミーティングの名称	頻度	内容
全体ミーティング	月1	行事等の検討・問題検討及び解決
食事委員会	月1	行事食や食事に関する事項の検討
環境整備委員会	隔月1	施設内外の環境に関する事項の検討
教育委員会	月1	全体研修や職員へ向けた教育を検討
朝のミーティング	毎日	当日の予定についての申し送り

(5) 苦情・事故対応

ア 苦情受付

苦情・利用者様の声の内容			
1. 本人の処遇に関わる内容	0	6. 職員の技術不足	0
2. 個人の嗜好・選択	0	7. 職員の連絡ミス	1
3. 施設の設定	0	8. 他事業所の対応	0
4. 制度・施策・法律に関わる内容	0	9. その他	0

イ 第三者委員会への報告

今年度は感染予防の観点から集会は中止し、5月と11月に第三者委員へ文書で報告し、報告に対する回答及びアドバイスを受けました。

ウ 事故防止

事故報告書の回覧、全体ミーティングで事故報告と対応等の検討をしました。リスクマネジメント委員会の活動による事故防止の啓発をしました。

4 美原居宅介護支援事業所の活動実績

(1) 介護度別介護計画作成状況

ア 介護給付

月	要 介 護					合計	住宅 改修	加 算				
	1	2	3	4	5			初回	入院 連携 I	入院 連携 II	退院	通院時連携
4月	46	42	16	14	9	127	2	5	0	0	0	1
5月	48	48	15	16	7	134	2	7	2	0	0	1
6月	51	43	18	13	8	133	1	4	3	1	1	1
7月	46	45	17	13	7	128	0	2	5	0	0	1
8月	50	47	16	13	7	133	0	6	3	0	0	3
9月	49	49	15	12	8	133	1	6	2	1	0	1
10月	49	46	17	13	7	132	3	5	4	0	0	1
11月	47	43	20	16	7	133	1	7	4	0	0	3
12月	46	43	17	14	9	129	1	7	2	0	0	2
1月	48	45	16	12	8	129	2	2	4	1	1	1
2月	48	41	17	10	8	124	0	1	3	1	0	1
3月	48	38	17	10	7	120	0	3	12	2	1	1
計	576	530	201	156	92	1555	13	55	44	6	13	7

イ 介護度別割合 (介護給付)

(単位%)

介護度	1	2	3	4	5
割 合	37%	34%	13%	10%	6%

ウ 介護予防給付

月	要支援1	要支援2	事業対象	合計	住宅改修	初回加算	委託加算
4月	9	30	12	51	0	3	1
5月	9	31	10	50	0	2	1
6月	9	29	9	47	0	0	0
7月	9	30	9	48	0	0	0
8月	9	28	9	46	0	0	0
9月	9	27	7	43	0	0	0
10月	8	27	5	40	0	3	0
11月	8	29	7	44	0	3	1
12月	10	31	7	48	0	5	2
1月	10	33	8	51	0	1	1
2月	10	32	8	50	0	1	0
3月	12	33	8	53	1	1	4
計	112	360	99	571	1	19	10

エ 介護度別割合（介護予防給付）（単位％）

介護度	要支援1	要支援2	事業対象
割合	20%	63%	17%

(2) 活動内容

- ア 介護支援専門員として有るべき姿の追求、利用者本位のケアマネジメントの徹底
- イ 申請等の状況
 - 介護保険の更新・区分変更・新規申請代行
 - 新規相談 53件
(実績 38件 相談のみ 15件)
 - 住宅改修 14件
- ウ 静岡県・富士市主催の研修を受講
- エ 居宅全体としてのチームアプローチ
 - 朝礼後のミーティング 毎日
 - 週末ミーティング 週1回
 - 居宅ミーティング 月1回
 - 必要時に所内スーパービジョンを開催しケースへの対応を全員で確認
 - 必要時には管理者もしくは担当外のケアマネが担当ケアマネの訪問時に同行
- オ 介護支援専門員実務研修の実習生受け入れ(今年度なし)

(3) 事業報告

- ア 地域行事への積極的な参加。地域との関わり強化
 - (ア) 主治医訪問 年間計画を立て、主治医訪問（個別相談）
その他、必要時個々に主治医を訪問、薬剤師との連携を図る
 - (イ) 社会資源開拓 新規開設施設を中心に訪問(今年度は実施無し)

個別に新規調整時や必要時に随時連絡・訪問・情報交換を実施

(ウ) 民生委員との連携会議に参加 広見地区、大淵地区、神戸青葉台・・・年間4回

(エ) 地域ケア会議への参加 広見地区 大淵地区 青葉台地区 個別で実施

(オ) 地域活動 広見地区のお祭り等の行事に施設として参加 開催なし

広見小学校生徒対象認知症サポーター講座 開催なし

イ 法令遵守、支援力向上の為の情報収集、各関係機関との連携強化

(ア) 令和6年4月の介護保険法改正に向けての法令の変更点等の理解と周知確認

(イ) 集団指導（静岡県、富士市）・介護保険法改正関連説明会等の参加（リモート）

(ウ) 効率的な業務遂行のための書類整備

(エ) 法人の居宅部門会議で他居宅介護支援事業所との情報交換

(オ) 週末ミーティングでの新しい情報・確認した制度関連情報の周知

(カ) 新規制度・変更時には介護保険課に確認

ウ 専門職としてのスキルアップ

年間計画に基づき研修を受講し、介護支援専門員としての専門性を高め、事業所の質の向上に努め、年間計画以外でも情報を適宜収集し共有しました。

主 催	内 容	人数
静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課	集団指導（オンライン）	1
静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課	静岡県介護支援専門員実務研修実習受入事業所として 実務研修実習生受け入れ（今年度より未実施となる）	0
静岡県介護支援専門員協会	静岡県介護支援専門員専門研修演習指導説明会 （オンライン）	1
富士市役所 介護保険課	富士市介護予防・日常生活総合事業に係る説明会 資料配布	2
富士市介護保険課指導担当	集団指導（第1回）（オンライン）	1
富士市役所 高齢者介護支援課	主任介護支援専門員全体会	4
富士市保健部高齢者介護支援課 障害福祉課	令和5年度相談支援専門員と主任介護支援専門員との 研修会	1
富士市介護保険事業者連絡協議会	富士市介護サービス研究集会	2
富士市北部地域包括支援センター	吉原北部ケアマネジメント連絡会（第4回）	4
同上	企画会議、ほくぶパス	8
同上	大淵地区民生委員と介護支援専門員の連携会議	1
同上	神戸青葉台地区民生委員と介護支援専門員の連携会議	1
同上	広見地区民生委員と介護支援専門員の連携会議	7
	企画会議	3
社会福祉法人県民厚生会きらら富士	グループホームデイ運営推進会議	2

(4) 内部研修・事例検討

名 称	参加者	回数
美原全体研修 (ジョブメドレー)	居宅全員	2
美原居宅内部研修 (毎月)	居宅全員	12
外部研修等の伝達	居宅全員	4
キャリアラダー研修	居宅全員	0
主治医訪問	居宅全員	適宜
社会資源開拓 (施設見学等)	居宅全員	4
特定事業所加算法人間研修 全4回 (オンライン)	管理者 主任	4

V デイサービスセンター松崎事業報告

1 事業概況

令和5年度は、収支バランスの健全性、安定性に向け、グループ目標である提案力とともに、前向きな取り組みを実施してきました。職員の意識統一を図るため、これまで新型コロナウイルスの影響により中止していた全体研修を再開しました。管理部門については、サービス利用者数と介護保険収入を具体的な数字で確認し、新規獲得に向けた具体的数値目標の意識づけを行いました。松崎町における通所介護の給付率のうち、50%超がデイサービスセンター松崎となっていますが、総人口の減少、少子高齢化により利用者数の減少に歯止めを打つことが難しい状況が続き、目標を達成できませんでした。

デイサービス部門では、サービス提供時間の延長を行い1区分上位の単価となりました。サービス内容についても延長に伴い組み直しを行いました。今後もより良いサービス内容と質の高いサービス提供につなげるための努力が必要となっています。

居宅部門では、1名減の2人体制でスタートしました。男女の配置で年齢差もあり、苦慮する点もありましたが、SMG学会への参加もさせていただき、前向きにチーム形成がされてきています。また、入院、入所、ご逝去による中止者が多い中、いかなるケースについても様々な関係者と協力しながら積極的にケースを受けていく姿勢作りを実施したことで、関係機関の他、利用者家族、職員からの紹介も増えたことも実感できました。

次年度も、施設内の人材育成、業務改善に加え、人口減少による地域の課題と向き合い、引き続き前向きなチャレンジを続けていきます。

2 各サービスの事業概要

(1) デイサービス松崎（一般型・総合事業）

年間を通じて入院者の多い状況が続きました。4月に入り増加傾向でしたが、6月以降休止者が増え、家族都合によるショートステイ利用者の増加や、入院を機に施設サービスを選択する方も多く実績が伸び悩みました。

新型コロナウイルス感染症についても、5類になったことにより利用者及び職員の感染者が前年度に比べ倍近く増加しました。感染対策は継続しており感染拡大には至りませんでした。地域の感染が増えたことによる利用控えが多く、実績の減少につながりました。

新規利用者につきましては、多い月で4名の利用開始がありましたが、月平均に換算すると1.8名と低い結果となり、内訳では要支援の新規割合が多かったこともあり、年間目標達成率86.03%、対前年延べ人数85.92%と前年より1,220人の利用減となってしまいました。

9月よりサービス提供時間を6-7時間提供から7-8時間提供に変更し、提供時間を延ばすことにより収入単価増となりましたが、1日平均24名から増やすことが出来ず目標達成には至りませんでした。

今年度もケアマネジャーから、「困ったときに対応してくれる事業所」と感じて頂けるように、近隣事業所で感染症が発生した際の振替利用など、迅速かつ強力的な受け入れを行いました。来年度につきましても、感染予防対策の緩和と余暇活動のバランス、新規受け入れや利用回数増への働きかけも引き続き行いながら、地域に必要とされ、ケアマネジャーに自信をもって紹介していただける施設であるために、さらなる接遇の強化、サービスの見直し

を続けていきたいと思えます。

(2) まつざき居宅介護支援事業所

令和5年度は2人体制でスタートしました。経験、年齢差のある中、情報共有やケースの相談において難しさはありましたが、事業所としていかなるケースでも積極的に支援していく姿勢を徹底し、地域全体の在宅サービス利用者が減少する中、可能な限り担当件数を維持し、地域に貢献できるよう取り組んできました。

また、新型コロナウイルス5類移行後、利用者の家庭内、在宅サービス事業所内でクラスターが発生するなど、サービス調整に苦慮することが変わらず発生しました。5類変更の影響で、感染者が発生しても外部へ情報提供しない事業もあり、サービスを併用する事業所からの問い合わせに時間を割くことが多くありました。

地域の高齢者サロンへの講師依頼も積極的に受け、認知症予防に関する取り組みを行ってきました。地域高齢者と触れ合い、情報交換するなかで、地域に必要なサービスが確保できない地域課題に直面しました。介護人材が年々減少している影響で、インフォーマルサービスを活用することが望ましい所ですが、それさえも難しい状況にあることにもどかしさを感じました。

来年度は、高齢者世帯が多いこの地域で、どのように新規利用者を確保していくか、その開拓方法を常に考え、積極的に動いていきます。また、それと同時に、関係機関と連携し、地域における課題解決の取り組みに協力し積極的な支援活動を通して、信頼ある居宅介護支援事業所を目指していきます。

3 デイサービスセンター松崎の活動実績

(1) 利用者の状況

ア 介護度別利用実人数

令和6年3月31日現在

一般型	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	3	19	5	10	3	5	0	2	0	3	50
総合事業	事業対象者		要支援1		要支援2						計
	男	女	男	女	男	女					
	0	0	3	4	1	11					19

イ 介護度別利用延べ回数

令和6年3月31日現在

一般型	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	28	214	36	107	28	44	0	33	0	12	502
総合事業	事業対象者		要支援1		要支援2						計
	男	女	男	女	男	女					
	0	0	10	14	4	85					113

ウ 介護度別割合

令和6年3月31日現在

(一般型)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
実人数(人)	22	15	8	2	3	50
割合(%)	44.0%	30.0%	16.0%	4.0%	6.0%	100%
(総合事業)	事業対象者	要支援1	要支援2			計
実人数(人)	0	7	12			19
割合(%)	0.0%	36.8%	63.2%			100%

エ 地区別登録者数

(ア) 一般型

令和6年3月31日現在

地区名	松崎	三浦	中川	岩科	西伊豆	計
人数	19	8	15	6	2	50
利用回数	187	81	165	62	7	502

(イ) 総合事業

地区名	松崎	三浦	中川	岩科	西伊豆	計
人数	10	0	6	3	0	19
利用回数	62	0	31	20	0	113

オ 年齢別登録者数

令和6年3月31日現在

	一般型		総合事業		計	
	男	女	男	女	男	女
50歳代	0	0	0	0	0	0
60歳代	1	0	1	0	2	0
70歳代	2	3	1	0	3	3
80歳代	6	15	2	6	8	21
90歳代	2	21	1	8	3	29
100歳代	0	0	0	0	0	0

	男		女	
	一般型	総合事業	一般型	総合事業
平均年齢	81.5歳	80.6歳	88.2歳	88.4歳
最高年齢	97歳	90歳	97歳	94歳
最低年齢	63歳	65歳	77歳	80歳

力 年間実績

(ア) 一般型

	延人数	1日平均	登録者数	新規利用者	再利用者	中止者
4月	601	24.04	60	2	2	1
5月	628	23.26	58	1	0	3
6月	559	21.5	57	1	0	2
7月	571	21.96	56	0	1	2
8月	549	20.33	53	1	0	4
9月	502	19.31	52	1	2	4
10月	527	20.27	48	0	0	5
11月	510	19.62	52	1	3	0
12月	473	18.92	52	3	1	3
1月	443	18.46	49	1	2	7
2月	486	19.44	49	0	1	3
3月	502	19.31	50	1	1	1
合計	6,351	20.54	636	12	13	35

(イ) 総合事業

	延人数	1日平均	登録者数	新規利用者	再利用者	中止者
4月	86	3.44	17	1	0	0
5月	85	3.15	16	1	0	2
6月	78	3	15	0	0	1
7月	76	2.92	15	0	0	0
8月	91	3.37	16	0	1	0
9月	77	2.96	15	0	0	1
10月	86	3.31	15	1	0	0
11月	93	3.58	17	2	0	0
12月	106	4.24	18	0	0	0
1月	96	4	20	3	0	0
2月	108	4.32	19	1	0	0
3月	113	4.35	19	1	0	1
合計	1095	3.55	202	10	1	5

キ 月別中止理由延べ人数

(ア) 一般型

	入院	死亡	入所	転居	都合	自宅療養	他事業所	計
4月	0	0	0	0	0	1	0	1
5月	1	2	0	0	0	0	0	3
6月	2	0	0	0	0	0	0	2
7月	1	0	1	0	0	0	0	2
8月	2	0	1	0	0	1	0	4
9月	1	1	0	0	1	0	1	4
10月	2	1	1	0	1	0	0	5
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	2	0	0	0	0	1	0	3
1月	1	3	0	0	2	1	0	7
2月	0	2	0	0	0	1	0	3
3月	1	0	0	0	0	0	0	1
計	13	9	3	0	4	5	1	35

(イ) 総合事業

	入院	死亡	入所	転居	都合	自宅療養	他事業所	計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	1	0	1	2
6月	0	1	0	0	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	0	0	0	0	1
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	0	0	0	0	1
計	2	1	0	0	1	0	1	5

ク 月別介護度別実績

(ア) 一般型

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	251	195	80	51	24	601
5月	260	204	95	47	22	628
6月	247	164	77	45	26	559
7月	245	183	71	48	24	571
8月	227	186	66	51	19	549
9月	200	172	60	53	17	502
10月	237	173	54	34	29	527
11月	238	168	47	38	19	510
12月	233	150	46	33	11	473
1月	212	118	72	32	9	443
2月	233	136	72	32	13	486
3月	242	143	72	33	12	502
計	2,825	1,992	812	497	225	6,351

(イ) 総合事業

	事業対象者	要支援1	要支援2	計
4月	0	43	43	86
5月	0	50	35	85
6月	0	47	31	78
7月	0	44	32	76
8月	0	50	41	91
9月	0	30	47	77
10月	0	31	55	86
11月	0	36	57	93
12月	0	30	76	106
1月	0	34	62	96
2月	0	29	79	108
3月	0	24	89	113
計	0	448	647	1095

(2) 年間行事・業務日課

ア 年間行事

4月	・手作りおやつ「蒸しパン」・変わり湯企画
5月	・手作りおやつ「みたらし団子」・菖蒲湯
6月	・手作りおやつ「スイーツバイキング」・松崎幼稚園児とのふれあい
7月	・夏の大運動会
8月	・夏祭り
9月	・敬老会
10月	・手作りおやつ「秋のデザートバイキング」
11月	・手作りおやつ「さつまいももち」 ・オンラインレク 「ねずっちによる即興なぞかけ×中田亮様の昭和歌謡コンサート」
12月	・お楽しみ会（カラオケ大会とピンゴ）
1月	・新年会（福笑い・おみくじ・お汁粉） ・第一興商音楽健康指導員コラボレーション
2月	・節分会（豆まき・お菓子すくい・ゲーム）・松崎町人権相談会
3月	・春の運動会

(3) 実習・研修・福祉体験等受け入れ

大人の職業体験 1名

(4) ボランティア受け入れ

団体名・個人名	内容
松崎幼稚園	園児とのふれあい、踊り
松崎高校3年生	ボランティア実習
聖和保育園	鼓笛隊

4 まつざき居宅介護支援事業所の活動実績

(1) 介護度別介護計画作成状況

	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	計	住宅改修	購入	新規	再利用	中止
4月	4	8	25	23	5	8	5	78	0	0	2	0	0
5月	4	8	23	23	6	7	5	76	0	0	1	0	3
6月	4	8	24	21	6	7	5	75	0	0	1	1	3
7月	5	8	25	21	6	7	6	78	0	1	2	1	0
8月	5	8	24	22	6	7	6	78	1	0	1	0	1
9月	5	8	24	22	6	7	6	78	0	0	0	2	2
10月	4	8	24	21	5	6	6	74	2	0	0	0	4
11月	4	8	25	22	4	6	6	75	2	0	1	0	0
12月	4	8	27	22	7	7	4	79	0	0	2	2	0
1月	3	8	26	21	8	6	4	76	0	0	1	0	4
2月	3	7	25	20	7	7	4	73	0	0	1	0	4
3月	3	7	26	21	6	6	6	75	0	0	2	0	0
計	48	94	298	259	72	81	63	915	5	1	14	6	21

(2) 介護度別割合 (令和6年3月)

介護度	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
割合	4.0%	9.3%	34.7%	28.0%	8.0%	8.0%	8.0%	100%

(3) 活動内容 (研修・地域ケア会議等)

日時	主催	内容
5/15	西伊豆健育会病院	在宅医療懇談会 V R E と接触感染対策鶴山医師
5/18	松崎町地域包括支援センター	第1回松崎町介護支援専門員連絡会
8/17	松崎町地域包括支援センター	第2回松崎町介護支援専門員連絡会
9/7	静岡県介護保険課	認定調査員現認研修 YouTube 配信受講
9/19	松崎町地域包括支援センター	地域ケア個別会議
9/21	西伊豆健育会病院	在宅医療懇談会訪問看護座談会
9/22	西伊豆町包括支援センター	アセスメントにおける情報分析の在り方
9/23	静岡県福祉指導課	集団指導 (動画配信視聴)
11/16	松崎町地域包括支援センター	第3回松崎町介護支援専門員連絡会

11/29	西伊豆町包括支援センター	第1回事業所連絡会・地域ケア会議研修会
12/13	西伊豆健育会病院	在宅医療懇談会誤嚥性肺炎・口腔ケア
12/19	松崎町包括支援センター	地域ケア会議
12/20	静岡県健康福祉部健康増進課	介護予防新任者研修（動画配信視聴）
1/19	西伊豆町地域包括支援センター	災害時被災者生活再建支援研修
2/14	西伊豆町地域包括支援センター	ケアマネ連絡会
2/15	松崎町地域包括支援センター	第4回松崎町介護支援専門員連絡会
2/16	西伊豆健育会病院	在宅医療懇談会入院について講師井上麻理医師
2/29	賀茂地区介護支援専門員協会	災害に強い地域づくりの為の地域援助技術
3/7	松崎町地域包括支援センター	主任ケアマネ会議
3/21	松崎町地域包括支援センター	地域ケア会議事前打ち合わせ

VI 富士中央ケアセンター事業報告

1 事業概況

令和5年度は、法人目標である「提案力」を掲げ、在宅強化型介護老人保健施設として在宅復帰の推進、重度化予防を目的とした施設サービスの利用推進を重点目標に置き職員それぞれの提案から様々な取り組みを実施いたしました。その結果として、在宅強化型への類型変更後では過去最高の稼働率となりました。今後、地域包括ケアシステムが深化し、医療機関や施設の役割分担が細分化し明確化されていく中で地域に臨まれるサービスを提供してまいります。

ここ数年対応に苦慮していた新型コロナウイルス感染症も令和5年5月8日より感染症法の位置づけが5類に変更となりました。当施設においても、対面面会や施設行事を段階的に再開してまいりました。ここ数年でコロナ感染症によるクラスターを経験したことにより感染症に対する対応は段階ごとに取り決められ施設内で陽性が確認されても適切な対応ができるようになりました。今後も事業継続計画の適宜更新や研修訓練を実施し災害や感染症に強い施設づくりを強化してまいります。

施設運営では、在宅強化型老健移行後では過去最高の年間稼働率となり前年度に比べ2.4%向上となりました。入退所先では「在宅」がそれぞれ最も高い数値となり地域における在宅復帰ニーズが高まっていることが伺えます。また、重度化する前の体力回復や機能低下防止のための入所も数字を伸ばしていることから積極的に発信し住み慣れた地域やご自宅で過ごしていくためのサービスを提供していけるよう検討してまいります。

令和6年度より在宅強化型老人保健施設では基本報酬が増加することとなりました。社会に求められる機能を果たせるように職員一同努力を続けていくとともに、地域の関係機関との連携を密におこない地域住民の皆様が医療介護で困らないよう施設運営をしてまいります。

2 各サービスの事業概要

(1) 看介護

令和5年度の平均入所稼働率は93.1%と前年対比プラス2.4%となり目標数値を上回ることができました。在宅復帰をするための生活リハビリの充実や基本的な健康管理を徹底することにより在宅に退所される方の割合は過去最高となりました。また、急性期からの入所率も増加傾向になり医療処置が必要な方も増えていることから医療的ケア委員会による研修の実施などを通してアセスメント力の向上を図りながら看介護だけではなく様々な部署とカンファレンスを実施しながら適切なケアを提供しています。看介護教育では、所属長や教育委員会と連携しながら目標管理面接やラダー研修を実施し入職から迷わせない学びを徹底するとともに時代に沿ったオンライン学習システムを活用し学びと実践がつながるように実施しています。今年度はキャリアラダーレベルIVが2名誕生したことも成果の一つとなりました。

(2) デイケア

本年度は長く利用された方の施設入所などが多くみられ、稼働率を大きく下げた年となりました。新規相談からの新規利用者も多くみられましたがそれ以上に利用中止者が多く稼働率向上までには届きませんでした。一方でリハビリテーションマネジメントによりADL向上などを体験されたご利用者やそのご家族からの紹介やケアマネジャーからの新規相談も増えていることからリハビリニーズは増加しているため地域に知ってもらえるよう広報活動を充実してまいりたいと考えています。

(3) 地域連携室

令和5年度は過去最高の入退所数となりました。地域の医療機関や在宅からの相談に対し迅速に対応するとともに施設基準を維持するための指標管理の徹底も求められ負担の大きい1年となりました。しかし、ここ数年間の在宅強化型老人保健施設の運営から多くの経験をしたことにより適時適切なベッドコントロールを実施することで地域のニーズに答えていくよう努力を続けてまいります。今後の課題としては看取りニーズへのご期待に応えられるよう施設機能を上げ地域福祉の拠点として様々なニーズにお応えできるよう邁進してまいります。

(4) 健康管理

令和5年度は、管理栄養士2名体制を維持し栄養強化マネジメント加算の算定を通じ栄養管理の向上を図りました。また、食事に対する意識向上のため検食対象を拡大し広く食事に対する提案をいただくよう仕組みを構築しました。口腔に対しては言語聴覚士との連携を図り必要な支援をするとともに、在宅からの入所割合が増加したことにより未治療の歯に関与するための入所時口腔チェックなどの試み始める口腔維持のための取組を推進しました。服薬調整では多剤に対して必要性を判断し医師の指示の下、適正な服薬になるよう努めました。

(5) リハビリ

介護老人保健施設における在宅復帰機能の中心的な役割を担うリハビリ課においては、入所後3か月の間に集中したリハビリ提供をおこない、機能回復に積極的に努めています。また、入所前や退所前の訪問指導を通じ、在宅復帰の意向が増加するように務め、短期集中リハビリテーションの加算算定機会率87.3%となり前年対比+15.3%となりました。コロナ感染症によるクラスターによる介入制限がありましたが意識を高め算定率を向上させることができました。

通所リハビリテーションにおいてはリハビリテーションマネジメントの算定率が増加したことから在宅生活におけるリハビリの充実を図り、その人らしい生活が継続できる方法をご利用者ご家族、関係機関と検討しながらより良い生活ができるように支援をしてまいります。

3 介護老人保健施設富士中央ケアセンターの活動実績

(1) 施設利用者の状況

ア 入所延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	2,875	2,905	2,753	2,815	2,830	2,870	2,793	2,663	2,901	2,989	2,775	2,896	34,065
稼働率	95.8	93.7	91.8	90.8	91.3	95.7	90.1	88.8	93.6	96.4	95.7	93.4	93.1

イ 短期療養入所延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	11	17	18	0	6	3	26	24	9	5	14	8	141

ウ 入退所の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	8	13	11	10	13	12	8	14	17	10	9	14	139
退所	10	12	13	15	8	9	18	7	15	10	10	14	141
末日在籍	94	95	93	88	93	96	86	93	95	95	94	94	

エ 入退所の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入所	130	112	139
退所	125	109	141

オ 入退所の内訳

入所先	入所者数	退所者数
在宅	70	46
医療機関	65	38
特養	0	39
老健	2	1
社会福祉施設等	0	0
その他	2	17
計	139	141

(2) 要介護度分布

ア 男女別要介護度階級別入所者数 令和6年3月31日現在

区 分	令和5年度		
	男	女	合計
要介護度1	2	7	9
要介護度2	7	8	15
要介護度3	5	19	24
要介護度4	7	29	36
要介護度5	1	9	10
合 計	22	72	94
平均介護度	3.2		

イ 年齢別要介護度分布

令和6年3月31日現在

年 齢	介護度1		介護度2		介護度3		介護度4		介護度5		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
64歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2
70～74	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2
75～79	2	0	1	0	1	1	1	0	1	0	6	1
80～84	0	0	0	2	0	3	1	7	0	1	1	13
85～89	0	3	4	1	1	5	2	6	0	2	7	17
90～94	0	2	1	2	0	7	3	11	0	3	4	25
95～99	0	0	0	2	2	2	0	4	0	2	2	10
100～	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
合 計	2	7	7	8	5	19	7	29	1	9	22	72

(3) 加算別算定実績

ア 短期集中リハビリテーション加算 240 単位/日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	33	39	36	34	36	40	37	37	40	37	39	41	449
実施日数	581	670	628	620	700	772	722	410	507	627	627	623	7,487
算定機会率	91.2	91.5	97.5	98.6	95.0	91.6	99.9	60.4	70.5	74.4	86.1	91.6	87.3

イ 所定疾患施設療養費Ⅰ 239 単位/日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
日数	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	9

所定疾患施設療養費Ⅱ 480 単位/日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	2	1	3	2	0	0	3	0	0	3	3	2	19
日数	10	5	12	11	0	0	21	0	0	12	15	9	95

イ-1. 内訳

肺炎

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

尿路感染症

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	1	1	2	2	1	0	2	0	0	2	3	2	16
日数	5	5	7	10	5	0	11	0	0	7	15	9	74

带状疱疹

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
日数	0	0	5	0	0	0	10	0	0	5	0	0	20

蜂窩織炎

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
日数	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	10

工 療養食加算 18 単位/日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定対象	12	12	14	12	10	12	12	11	13	14	17	17	156
算定回数	1,030	1,056	1,002	955	809	858	770	836	997	1,212	1,282	1,405	12,212

才 口腔衛生管理加算 110 単位/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	103	103	104	99	99	103	100	96	107	104	103	104	1,225
算定率	99.0	96.3	100	96.1	99.0	98.1	98.0	98.0	97.3	100	99.0	98.1	98.2

カ 初期加算 30 単位/日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
算定件数	17	20	20	19	20	22	18	17	27	23	16	19	238
日数	309	269	264	301	311	356	239	299	378	337	240	242	3,545

(4) 実習・ボランティア

ア 実習

学校・団体名	延人数	日数	摘要
富士市立看護専門学校	11名	7日間	老年看護学実習
富士リハビリテーション学校	3名	30日間	作業療法士
静岡福祉大学	2名	40日間	社会福祉士

(5) 研究発表

大会名	発表者
東海北陸ブロック老人保健施設大会	若松 信宏 野澤 祥子
全国介護老人保健施設大会	金澤公美
富士介護サービス研究集会	後藤拓人

4 デイケアリベルタの活動実績

(1) 利用者の状況

ア 利用延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般	563	625	558	580	616	585	592	619	561	546	543	570	6,958
予防	46	53	51	49	53	46	46	38	40	37	35	36	530
合計	517	572	507	531	563	539	546	581	521	509	508	534	6,428
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309
稼働率	75.0	77.0	71.6	74.3	76.0	75.0	76.0	79.3	74.6	76.0	72.3	73.0	75.0

5 訪問リハビリテーションの活動実績

(1) 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	14	17	22	22	18	17	16	16	16	16	14	13	201
延べ人数	30	34	46	64	50	48	36	32	34	38	36	32	480

Ⅶ 富士市北部地域包括支援センター事業報告

1 事業概況

新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、会議や研修などが一堂に会し実施できるようになり、包括職員が積極的に地域へ出向いた1年でした。コロナ禍で地域の見守り機能が低下したことにより悪化した状況で発見されるケースが多くみられたため、各地区の民生児童委員協議会や福祉推進会、サロン等へ見守り支援の働きかけを行い、地域で支えあう仕組みづくりに注力してきました。8050問題、精神障害、ヤングケアラーなどさまざまな課題が混在し、複雑化する相談は増加しており、多様なニーズへの支援が求められています。

令和6年度は、3か年計画で地域力の向上を目指していきたいと考えます。地域住民が主体的に「自助」「互助」に取り組み、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう地域包括支援センターの役割を遂行してまいります。

2 包括的支援事業

(1) 総合相談・支援事業について

年間相談者（延人数）は1591人でした。月平均132人の相談があります。相談者は家族・親族742人、本人364人、ケアマネジャー150人、医療機関130人、民生委員や介護サービス事業所からの相談も多く寄せられます。相談方法（延件数）は、電話699件、訪問519件、来所365件となり、年齢が若い方はSNSを通じて問い合わせがあります。相談内容（延件数）は、介護保険515件、生活全般446件、介護方法255件、保険・医療相談171件、認知症相談137件の順に多く、相談の結果（延件数）、見守り等支援の継続598件、介護保険の紹介288件、訪問の実施331件、ケアマネ等他機関の紹介147件を行っています。生活困窮や認知症状により介護・医療サービスを必要としても身寄りがないことにより、利用までに時間がかかる案件が増加しています。支援の必要な高齢者を専門職だけでなく、地域でも支える体制の強化が急務です。

(2) 権利擁護業務

令和5年度の虐待通報件数は27件、虐待と認定したケースは9件です。虐待通報者としてはケアマネジャーの通報が半数を占め、虐待への意識が高まっていることが伺えます。分離に至ったケースは1件でした。

虐待の起こる背景として認知症や生活困窮があげられます。認知症の症状を受け入れられず困惑し、介護ストレスから暴言暴力につながる傾向にあり、いわゆる8050問題とされる家庭において暴力やDVに繋がることもあります。認知症、障害、貧困等の多問題家族の支援は、介護や医療、障害のフォーマルサービスだけでなく、民生委員等のインフォーマルサービスにも支援チームに加わっていただき、高齢者虐待防止の周知とともに、早期発見・早期対応できるよう連携を強化していきます。

成年後見制度の相談、消費者被害等の相談は20件です。相談者（延人数）は、ケアマネジャー10件、家族・親族6件、本人4件、医療機関や介護事業所から1件ずつあります。市長申立に繋がった案件は5件でした。身寄りのない高齢者が認知症になり金銭管理や生活支援を必要として、成年後見の相談や申し立てが増加しています。成年後見制度や消

費者被害について、早期の対応に繋げられるようケアマネジャーや成年後見センター、消費生活センター等関係機関と連携を図り、本人の権利が護れるよう支援していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、感染予防を図りながら、対面で会議や研修会を実施しました。吉原北部ケアマネジメント連絡会を4回実施。災害時業務継続計画（BCP）、富士市総合事業、高齢者虐待防止の研修を行いました。居宅、小規模多機能居宅介護ケアマネジャー延べ45名が参加しました。医療・障害・介護など複合した課題が増加している現状を踏まえ、多職種の切れ目ない支援体制構築を目的としたほくぶパスでは、「さまざまな社会資源とつながる」テーマに、圏域社会資源マップを作成し、多様な支援に対応できるよう異業職種の方をゲストに迎えたワールドカフェを2回開催しました。延べ129事業所、180人の参加があり年々協力・連携体制の強化が図れています。民生委員とケアマネジャー連携会議はすべての地区で開催することができ、ネットワーク構築につながりました。次年度も新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、多職種連携を深める機会を継続していきます。

(4) 介護予防支援介護予防ケアマネジメント業務について

令和5年度の介護予防支援の給付管理数は2220件、介護予防ケアマネジメントの給付管理数1401件、介護予防支援は月平均185件、介護予防ケアマネジメントは月平均116件、合計で月平均301件になり、48ヶ所の居宅介護支援事業所と業務委託をしています。介護予防教室は、5教室開催し、延べ144名の参加がありました。脳の健康教室は青葉台まちづくりセンターで開催し、延べ104名の参加がありました。参加者の方は、健康意識が高く、フレイル予防や認知症予防の取り組みに熱心です。地域の担い手として居場所や運動教室づくりに主体的に参画いただけるよう教室を通じて働きかけていきたいと思いません。

3 その他業務

(1) 認知症施策推進事業について

富士市では各地域包括支援センターに1名の認知症地域支援推進員が設置されています。医療機関や介護サービス、地域のインフォーマルサービス等を把握し、それらをつなぐコーディネーターの機能が求められています。認知症サポーター養成講座は、大淵第一小学校4年生や青葉台地区のささえあいサポーターを対象に開催する事ができました。地区での認知症サポーター養成講座が昨年より多く開催できるよう計画していききたいと思います。今後も、感染症対策を行いながら、子どもから大人まで地域住民に認知症に対する理解が浸透するよう今後も地域づくりに取り組んでいきたいと思いません。

(2) 生活支援体制整備事業について

平成29年度より地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターが配置されています。主な役割として、地域のニーズとサービス提供のマッチングの役割を担うこととされ、地域共生社会を目指した「地域の支え合い」の仕組みづくりを行います。吉原北

部圏域においては、青葉台地区でゴミだしや草取りなど生活支援のボランティア「ささえあい青葉台」活動が開始され、担い手となるボランティア養成、コーディネーター機能を地域住民とともに実施しています。広見地区においても、居場所と生活支援を実施する「ふれあいテラス広見」が立ち上がりました。専門職や関係機関への周知、ボランティア養成をまちづくり協議会、社協とともに実施しています。大淵地区では、地域のささえあいやつながりを発見する「お宝さがし事業」を開始し、市民向け普及啓発講座では、福祉推進会和協働した実践報告を行いました。それぞれの地域の特性を理解し、地域の支えあい体制を整えていきます。

4 包括的支援業務の活動実績

(1) 総合相談

北部地域包括支援センター総合相談実績

ア 相談件数

事業所名	担当圏域	高齢者数/高齢化率			年間 相談者	月平均
		高齢者数	9995人	実人数		
市北部包括	吉原北部	高齢者数	9995人	実人数	695人	57人
		高齢化率	29.7%	延人数	1591人	132人

イ 相談種類（延人数）

事業所名	担当圏域	相談種別	年間計	月平均
富士市北部地域包括支援センター	吉原北部	電話	699	58回
		来所	365	30回
		移動・出張	8	0.6回
		訪問	519	43回

ウ 相談内容（延件数）

ブラ ンチ	介護 相談	介護 予防	介護 保険	生活 全般	保険・ 医療 相談	福祉 サービ ス	権利 擁護	虐待 相談	認知症	その 他
市北部 包括	255	103	515	446	171	115	22	31	137	13

(2) 権利擁護

ア 虐待への対応状況

(ア) 相談件数

相談・通報件数	27件
---------	-----

(イ) 相談者内訳

相談者	ケアマネ	近隣・知人	民生委員	本人	家族	行政機関	警察署	その他
件数	13	3	0	2	6	0	1	2

(ウ) 事実確認の結果

虐待あり	虐待なし	判断に至らない	調査予定
9	11	3	4

(エ) 虐待種別（複数回答あり）

身体的	介護放棄	心理的	経済的	性的
5	4	3	0	0

(オ) 分離対応

介護保険緊急利用	措置対応	医療機関への一時入院	アパート入居
0	0	0	1

イ 成年後見制度、消費者被害等の相談

(ア) 相談件数（延件数）

相談件数	20
------	----

(イ) 相談者内訳（延件数）

相談者	本人	親族	介護保険事業所	民生・児童委員	知人・隣人	医療関係者	介護サービス事業所	行政機関
件数	4	6	10	0	0	1	1	2

(ウ) 相談内容（延件数）

成年後見制度相談	日常生活自立支援事業	消費者被害による相談	債務に関する相談	財産管理・生活全般相談	申立書類作成支援	相続・終活・お墓について
7	3	3	1	5	0	1

(3) 包括的継続的ケアマネジメント

ア 介護支援専門員に対する個別支援

項目	回数
① 支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	22
② 個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	6
③ 介護支援専門員のケアマネジメント指導	6
④ 介護支援専門員に対する情報交換	2

⑤ ケアマネ同行訪問	10
⑥ 居宅訪問	5

イ ケアマネジメント資質向上（吉原北部ケアマネジメント連絡会）

月 日	内 容	参加人数
5月10日	居業務継続計画について意見交換及びコロナ移行後の対応	7
8月9日	各居宅の業務継続計画作成の進捗状況について	8
11月8日	富士市総合事業の変更点について	17
2月14日	高齢者虐待支援における居宅と包括の連携	13

ウ 地域ケア会議（地域課題）

（ア）ほくぶパス

月 日	内 容	参加人数
6月8日	テーマ：圏域の社会資源マップづくり	47
9月14日	テーマ：インフォーマルサービスを知る① （ワールドカフェ）	35
12月14日	テーマ：インフォーマルサービスを知る② （ワールドカフェ）	50
3月14日	テーマ：孤立を防ぎ地域とつながる方法（事例検討）	48

（イ）民生委員とケアマネジャーの連携会議

月 日	内 容	参加人数
4月3日	広見地区「支援するうえで困っていること」事例検討	33
7月6日	青葉台地区「民生委員とケアマネジャーの役割について」	46
10月2日	広見地区「災害時に利用できる社会資源や地域との協力体制を知る」	37
11月7日	大淵地区「コミュニティーソーシャルワーカーとケアマネジャーの役割について」	21

エ 地域ケア会議（個別課題）

開催回数	参加者延べ人数
28	98

（4）介護予防ケアマネジメント

ア 介護予防支援ケアプラン数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
直支1	10	11	11	12	11	10	10	11	9	9	9	9
営支2	15	13	13	14	14	14	16	14	16	16	15	16

	合計	25	24	24	26	25	24	26	25	25	25	24	25
委託	支1	39	40	41	42	47	45	43	46	49	48	45	50
	支2	114	112	111	109	106	116	122	123	124	119	120	115
	合計	153	152	152	151	153	161	165	169	173	167	165	165
ケアプラン数		178	176	176	177	178	185	191	194	198	203	189	190

イ 介護予防ケアマネジメントケアプラン件数

令和5年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
直営	事業	23	24	25	27	27	24	26	27	26	27	27	28
	支1	4	6	6	7	6	5	5	5	5	5	5	5
	支2	5	4	5	5	6	6	7	7	7	6	5	5
	合計	32	37	36	39	39	35	38	39	38	38	37	38
委託	事業	40	35	35	38	37	36	36	37	37	31	30	29
	支1	21	19	16	19	18	17	18	16	17	17	16	15
	支2	33	36	33	34	34	33	30	31	33	34	35	37
	合計	94	90	84	91	89	86	84	84	87	82	81	81
ケアプラン数		126	127	120	130	128	121	122	123	125	120	118	119

ウ 一般介護予防事業

(ア) 地域包括支援センター介護予防教室

日時	場所	実人数/延人数
9/21 9/28 10/5	桜ヶ丘公会堂	7/15
2/3 2/14 2/21	茶の木平公会堂	21/47
2/13 2/20 2/27	三倉公会堂	10/25
2/22 2/29 3/7	若松町公会堂	13/33
3/4 3/11 3/18	三倉南公会堂	11/26

(イ) 脳の健康教室

実施期間・回数	場所	実人数/延人数
5/5~7/27 全10回	青葉台まちづくりセンター	12/104

(5) 認知症施策推進事業

ア キャラバンメイト活動(認知症サポーター養成講座)

日時	場所	対象者	参加人数
11月21日	大淵	大淵第一小学校4年生児童・教師	102
11月18日	青葉台	ささえあい青葉台サポーター	19

(6) 生活支援体制整備事業

ア 大淵地区

内容	回数	参加延べ人数
企画会議	15	159
お宝さがし講座と地域歩き	3	102

イ 青葉台地区

内容	回数	参加延べ人数
企画会議	12	108
ささえあいサポーターの集い	6	125
ささえあいサポーター養成講座	1	9

ウ 広見地区

内容	回数	参加延べ人数
企画会議	9	94
テラス広見サポーター養成講座	3	70

エ 生活・介護支援サポーター活動

地区	内容	回数
大淵	ゴミ出し	36
青葉台	ゴミ出し・話し相手	84
広見	ゴミ出し	100

(7) 各種団体委員など

ア 講師派遣

開催日時	依頼元	派遣先	参加人数
	派遣職員	内容	
6年 3月	静岡県住宅供給公社	高齢者支援の制度説明	15名
	大川 千愛 佐野 瑞穂	講師	

イ 地域密着型施設運営推進委員

運営法人	派遣職員
運営施設	
医療法人財団 百葉の会	社会福祉士 望月優樹
グループホーム わたしの家	
社会福祉法人 県民共済会	社会福祉士 山口洸樹
グループホーム きらら富士	

社会福祉法人 湖成会	看護師 大川千愛
多機能ホーム 萌木	
社会福祉法人 誠信会	社会福祉士 山口洸樹
多機能ホーム 結	
社会福祉法人 誠信会	看護師 三池菊菜
地域密着型特養 かたくら明和園	
社会福祉法人 誠信会	社会福祉士 望月優樹
地域密着型特養 富士楽寿園	
株式会社 しもむら	センター長 内田理恵
デイサービス希望	
IDK 株式会社	センター長 内田理恵
デイサービス えがお	
清武総合株式会社	看護師 三池菊奈
デイサービスセンター 丘の上	
社会福祉法人 秀生会	看護師 大川千愛
デイサービスセンター 美原	

ウ 静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会企画委員

派遣先	派遣職員
静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会	センター長 内田理恵

エ 富士圏域地域包括ケア推進ネットワーク会議

派遣先	派遣職員
静岡県富士健康福祉センター	センター長 内田理恵

VII ヴィラージュ保育園 事業報告書

1 事業概況

今年度は、園内での感染症対策の徹底をして、安心してご利用いただける園をまずは目指してのスタートとなりました。園を休まずに運営できるということは、職員や地域の方たちのニーズに応えることができたと共に、改めて社会における保育園の必要性を感じる事ができました。

また、静岡県内での不適切保育の事案が数多く取り上げられたことから、職員の不適切保育に関しての意識をセルフチェックの実施や研修を受けることで、再研鑽することができました。

保育園としては5年目ですが、ヴィラージュ富士の中に組織を移し始めての年になりました。徐々に体制も整いつつある中で、働きやすく信頼される保育園を目指し取り組んでまいります。

2 施設概要

園の保育への取り組みや保育士自身の保育への取り組む姿勢も、年度を通じて見直しを図り、園の根本の目指す保育の確認ができた年になりました。そうすることで園児もすくすくと育ち大きなトラブルもなく運営できたことは大きな収穫でした。

毎年行われる立入調査では指導にいらした先生方より、保育計画の丁寧さやその考え方を非常に高く評価していただき、今後も継続することを進めていただくことができました。

職員研修では、事故防止・感染症対策の徹底にも力を入れ、救急隊による救命訓練を職員全員で受講し、11月には富士警察署から生活安全課の警察官の方を呼び、大々的に不審者訓練も受講することで、防犯の意識も高めることができました。

3 事業所の活動実績

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309
0歳児(実人数)	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	10
1歳児(実人数)	5	7	7	7	6	6	6	7	6	6	6	6	75
2歳児(実人数)	5	5	5	4	3	4	4	4	4	4	4	3	49
合計(実人数)	10	12	12	11	9	11	11	12	11	12	12	11	134

(2) 年間実施行事等

月	行 事
4 月	避難訓練
5 月	避難訓練、こいのぼり集会
6 月	避難訓練、内科健診、歯科検診、
7 月	避難訓練、七夕集会
8 月	避難訓練、夏祭り、不審者対応訓練（内部）
9 月	総合防災訓練、引渡し訓練
10 月	避難訓練、ハロウィン、児童育成協会立入調査
11 月	総合防災訓練、不審者対応訓練（外部）
12 月	避難訓練、内科健診、クリスマス会
1 月	避難訓練
2 月	避難訓練、豆まき
3 月	避難訓練、ひな祭り、お別れ遠足

(3) 内部研修実施状況

実施日	内 容
8 月 2 日	救命救急訓練
9 月 13 日	保育園の感染対策について
10 月 27 日	虐待防止における保育士の役割
11 月 24 日	感染症における正しい対応を身につけよう
12 月 22 日	乳幼児の発達と事故予防について（安全研修伝達）
2 月 28 日	防災対策伝達研修

(4) 外部研修への参加

主催	研修名	参加人数
公益財団法人 児童育成協会	令和 5 年度 保育安全研修	1 名
公益財団法人 児童育成協会	令和 5 年度 企業主導型保育事業施設長研修	1 名
静岡県社会福祉協議会	社会福祉法人における予算管理制度について	1 名
富士市保育幼稚園課	令和 5 年度 教育保育関係者研修	2 名
富士健康福祉センター	令和 5 年度食物アレルギー研修会	1 名

(5) 職員会議実施状況

- 第1回 令和5年 4月 28日 (金)
- 第2回 令和5年 5月 26日 (金)
- 第3回 令和5年 6月 29日 (木)
- 第4回 令和5年 7月 29日 (金)
- 第5回 令和5年 8月 25日 (金)
- 第6回 令和5年 9月 29日 (金)
- 第7回 令和5年 10月 27日 (金)
- 第8回 令和5年 11月 24日 (金)
- 第9回 令和5年 12月 22日 (金)
- 第10回 令和6年 1月 26日 (金)
- 第11回 令和6年 2月 22日 (木)
- 第12回 令和6年 3月 22日 (金)

事業報告書の付属明細書

- ・該当する事項なし



—第25期—

令和5年度事業報告書

- ◇特別養護老人ホーム ヴィラージュ富士
- ◇特別養護老人ホーム ヒューマンヴィラ伊豆
- ◇デイサービスセンター美原
- ◇デイサービスセンター松崎
- ◇介護老人保健施設 富士中央ケアセンター
- ◇富士市北部地域包括支援センター
- ◇ヴィラージュ保育園

発行 社会福祉法人 秀生会
〒419-0201 静岡県富士市厚原 359-8
電話 0545-72-5500
FAX 0545-73-1160
URL <https://syuuseikai.or.jp>
E-mail honbu@syuuseikai.or.jp
2024年6月7日 発行

